

## IV 委員会活動報告

### 1. 学生センター部門

#### (1) 教務委員会

##### 1) 全学教務委員会

各学部選出委員及び教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教務に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関であり、さらに、共通教養・キャリア教育・資格取得支援・基礎教育の各センター運営部会をも統括している。日常的には教務事項の円滑な運営を基本としつつ、教学を巡る学内外の動向を的確に捉え、その充実に必要な諸課題の把握と対応に努めること及び、各種報告事項についても適宜取り扱い情報の全学的共有化に努めている。

今(平成28)年度もまた、日常的な教務事項の推進並びに進捗に伴って確認、整理された諸課題について慎重に審議し決定することを中心に、報告事項についても適切かつ適確に周知を図るべく努めた。

以下、各回会議において審議・承認された事項を中心に、今年度の活動状況を概述する。

##### i) 第1回 平成28年4月21日(木)

###### 1. 2016年度学事関連事項の取組スケジュール

今年度のスケジュールについて、年間予定の確定、カリキュラム編成及び時間割の作成を例年より2ヵ月程度前倒しで進めること等を中心に説明がなされ、承認された。

###### 2. 2016年度の課題

本年度の課題として以下の5点について内容を確認し検討を進めていくこととした。

- ① 共通教養科目の確定
- ② 新たな成績評価基準の策定
- ③ 事前事後学修の実施確認
- ④ アクティブラーニングの充実ににおけるクラスサイズの見直し
- ⑤ 出欠席の適正な管理

###### 3. 成績評価「Q(履修放棄)」の廃止について

本年度より、短期大学部においても履修抹消制度が導入されたことを受け、本成績評価を廃止することが提案され、承認された。

###### 4. 2017年度年間予定表について

年間予定表の作成スケジュールが確認された。また、短期大学部が4学期制を導入することから、短大と大学の予定表が必ずしも同様にならないことについても確認された。

###### 5. オーストラリア(ニューカッスル)への引率者について

本年度の引率者については、公募によって5月上旬まで希望者を募ることとし、希望者が多数(約20名)であることから複数名とする可能性があることを確認した。

###### 6. 大学院生の学部授業科目履修について

院生より学則を上回る単位数の学部科目の履修希望があったため、該当院生が編入学生であることを考慮し、本委員会として履修を許可することとした。

##### ii) 第2回 平成28年5月26日(木)

###### 1. 2017年度年間予定表について

各学部で議論され出された、祝日及び連休中の講義実施、後期の開始時期などについて、実現可能であるかを検討・調整し、次回の本委員会にて再提案・審議することとした。

###### 2. 履修規程案について

人間健康学部では審議の結果了承され、総合経営学部では6月の教授会で検討予定であるため、次回の本委員会でも再度確認する。また、危機管理委員会へ1月に上程している「台風、積雪その他不測の事態に対する休講措置の申し合わせ」について、審議状況が不明であることから、議論を急いでもらうことを確認した。

### 3. 「生涯学習概論」の担当者変更について

現在、短大部の図書館司書科目である『情報サービス演習Ⅰ』の担当者に依頼することが、短大部教授会で承認された。総合経営学部の審議を待ち、次回最終確認する。

## iii) 第3回 平成28年6月23日(木)

### 1. 2017年度年間予定表

前回、各学部より希望があった内容を再度反映させた「年間予定表案」を基に審議を行った結果、以下のような合意に達し、承認された。

- ①5月1日(月)、2日(火) → 講義日とする
- ②後期開講日 → 9月21日(木) とする
- ③10月9日(月・祝) → 講義日
- ④11月3日(金・祝) → 休講日
- ⑤1月9日(火) → 11月3日の振替として金曜日授業を行う
- ⑥4月28日(金) → 教育学部開設及び人間健康学部開設10周年記念事業を行うものの、通常の講義日とする。

### 2. 次年度履修登録期間

システムの運用も考慮し、全学的に初回講義までに一次登録を行い、1週目の授業期間を変更期間とすることが提案され、異議なく承認された。

### 3. 自然災害時等の休講について

別紙「松本大学一斉休校及び臨時休業に関する基準運用細則(案)」が示され、審議の結果、一部修正し、全学運営会議へ上程することとした。

### 4. 履修規程案

別紙「松本大学履修規程(案)」について審議がなされ、前項の「松本大学一斉休校及び臨時休業に関する基準運用細則(案)」を受け、条項を追加した案を本委員会案として承認し、全学運営会議に上程することとした。

### 5. 2017年度共通教養科目及び科目区分

別紙資料に基づいて、共通教養センター運営部会での審議状況及び2017年度案について確認した。併せて、科目区分については、学部によって異なることも確認した。

### 6. 次年度カリキュラムマップ・ナンバリングについて

今年度中に次年度カリキュラムにおけるカリキュラムツリーの作成を確認した。

## iv) 第4回 平成28年7月28日(木)

### 1. 松本大学履修規程案

6月23日開催の当委員会で承認された案にオフィスアワー、追試験要件についての修正が加筆された「松本大学履修規程(案) 修正版」が提案され、異議なく承認された。

### 2. オフィスアワーに関する内規について

対象が本学専任教員に限定されていたため、非常勤講師を含む表現に変更することが提案され、異議なく承認された。

### 3. 2017年度共通教養科目について

共通教養センター運営部会で審議されたカリキュラム表が示され、承認された。

### 4. 教学改革について(総合改革支援事業)

教学改革及び文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の補助金獲得からも必要とされている

下記要件につき、今後継続して検討、審議していくことを確認した。

- ①シラバスの充実（準備学修の時間、成績評価の基準など）
  - ②履修系統図（カリキュラムツリー）の作成
  - ③GPAの活用（進級判定、卒業判定、退学勧告）
  - ④ルーブリックの活用
  - ⑤学修ポートフォリオの活用
5. オフィスアワー等の面談記録用紙について  
教員の記載を簡素化するために書式を見直し、今後は「オフィスアワー実施記録表」として月ごとの一覧に変更することが諮られ、承認された。

#### v) 第5回 平成28年9月20日(火)

1. 松本大学履修規程について  
全学運営会議の指摘を受け、成績評価「R」の表現について、「欠席超過」を「出席不足」へ変更することについて審議し、2017年度より変更することが承認された。
2. 教育学部を含む、他学部履修及び教職課程の履修について  
他学部の教職課程の履修に関し、教職センター専任会議での議論、決定を受け、以下の点について審議し、承認された。
  - ①教育学部の学生が既存学部の教職課程を履修する場合は、中学校社会二種、中高保健体育二種、中高理科二種（平成30年度から）を許可する。各免許の定員は8名程度（各学科の定員の1割、以下同じ）以内とする。
  - ②既存学部の学生が教育学部の教職課程を履修する場合は、小学校二種、中高英語一種を許可する。ただし、中学校免許履修者で定員8名程度以内とする。
  - ③既存学部の学生が既存学部の教職課程を履修することを許可する（栄養教諭、養護教諭は除く）。それぞれの教職課程での定員は8名程度以内とする。
3. 「地域企業特論」担当者について  
2017年度の「地域企業特論」の担当者として、今年度に引き続き岩間委員が担当することが承認された。
4. 共通教養科目の理念・目的について  
共通教養科目の理念・目的について文案が提案され、一部文言修正が今後入ることを含め、基本的に本案で表示していくことが承認された。
5. 大学案内におけるポリシーの掲載について  
大学案内における各学部の始めのページに各ポリシーを掲載することについて提案、承認がなされ、広報委員会へ掲載を依頼することとした。
6. 教学改革について（総合改革支援事業）  
教学改革の下記要件につき、資料をもとに審議した。
  - ①シラバスの充実
  - ②履修系統図（カリキュラムツリー）の作成
  - ③GPAの活用（進級判定、卒業判定、退学勧告に導入しているかどうか）
  - ④ルーブリックの活用
  - ⑤学修ポートフォリオの活用

#### vi) 第6回 平成28年10月31日(月)

1. 2017年度年間予定について  
短期大学部教務委員会より修正案が示され、審議の結果、異議なく承認された。
2. GPAの活用について  
学生指導におけるGPAの活用について「学生指導基準（案）」が示され、承認された。

## 3. ナンバリングの表記方法について

資料「ナンバリングコード配分規則変更(案)」が提案、審議され、人間健康学部健康栄養学科が4本柱になることから、別表2の記号に「D」を加えること、ナンバリングコードのレベルと科目区分及び通し番号の間にハイフンを入れることが確認された。

## 4. 共通教養科目の理念・目的について

共通教養科目の理念・目的及び概念図について、審議がなされ、異議なく承認された。

## 5. 次年度大学案内の掲載について

全学共通教養科目のページを学部ページの前に設け、3ポリシーは各学部のページに記載することが提案され、異議なく承認された。

## 6. 共通教養科目に関するルールについて

共通教養科目に関するルールについて、以下のとおり審議、確認がなされた。

- ①学生の本学上での出欠確認については、現状のままとする。
- ②全学共通教養科目における再試験は実施しない。
- ③原則として、Rとなる学生の調査及び発表を行う。
- ④成績の素点については、現状のままとする。

## 7. 規程及び内規について

別紙資料に基づいて、以下の各規程と内規について提案、審議がなされ、承認の上、次回の全学運営会議に上程することを確認した。

- ・松本大学修業年限を超えた留年生の学費に関する規定(改訂)
- ・松本大学オフィスアワーに関する内規(改訂)
- ・松本大学授業のクラスサイズに関する内規(改訂)
- ・松本大学スチューデント・アシスタントに関する内規

## 8. 進級に関する異議申し立て書について

2015年度入学生より、両学部にて「進級に関する規程」を導入したことに伴い、進級判定会議及び3年次への進級生発表を行うことを確認した。併せて、「進級に関する異議申し立て書」の様式を確認し、承認された。

## 9. 次年度シラバスについて

次年度シラバスについて、授業種別を「実験実習」を「実験」・「実習」・「実技」に細分化することとした。また、成績評価項目の「受講態度」については、各成績評価基準に盛り込むこととした。

## 10. 海外プログラム危機管理対応マニュアル

「海外プログラム危機管理対応マニュアル」について、再検討事項となっていた3ページの国際班に国際交流センター係長が明記されたこと及び、5ページのマニュアル2研修・オリエンテーションの4)を明記したことが説明され、確認の上、承認された。これをもって、今後、危機管理委員会に上程していくことを確認した。

## vii) 第7回 平成28年11月28日(月)

## 1. GPAの活用について

「松本大学履修規程」について、「退学勧告」に関する指摘を受け、第24条を「退学を含む指導を行う」に修正することが諮られ、異議なく承認された。あわせて、「学生指導における基準」においても、GPAの活用について、3期連続1.0未満となった学生に対して「退学を含む指導を行う」ことが諮られ、異議なく承認された。

## 2. 各学部の2017年度カリキュラムについて(カリキュラムマップ)

各学部の2017年度カリキュラム(カリキュラムマップ・ナンバリング)が示され、それぞれ確認された。

## 3. 科目区分名称の統一について

総合経営学部の専門科目群である「専門発展科目」と人間健康学部の「専門科目」を、教育学部と同様の「専門応用・発展科目」に統一することについて各学部の議論状況報告の上、それに基づいてあら



ためて提案がなされ、異議なく承認された。

#### 4. 学科のDP・CPについて

資料に基づき、現在の総合経営学部、人間健康学部及び教育学部のDP・CP・AP案が示された上で、それを踏まえて異なる体裁を整えていくことが諮られ、両学部共通に箇条書きの先頭部分の「・」、「○」を「①」、「②」、「③」に変更することが承認された。さらに、今後、以下の点について各学部で検討することが確認された。

##### 【総合経営学部】

- ・ APについて、リード文を入れることを検討する。
- ・ 文中の「取得」を「修得」に変更し、「習得」と「修得」の使用について確認する。

##### 【人間健康学部】

- ・ 各ポリシーのリード文を短くすることを検討する。
- ・ CPの【学部共通】の文言を削除し、教育課程の編成方針と教育方法に関する方針に分けた記載ができるか検討する。

##### 【教育学部】

- ・ 各ポリシーにリード文を入れることを検討する。
- ・ CPの4項目を他学部同様の2項目にまとめることができるか検討する。

また、教職センターより「松本大学教職課程がめざす教師像」について資料が示され、扱いについて検討した結果、次年度に向けて教職センターで修正したものを本委員会へ報告いただくこととした。

#### 5. 兼任依頼について

別紙資料に基づき、2017年度兼任依頼科目について審議がなされ、一部訂正のうえ、承認された。

#### 6. 次年度シラバスについて

別紙「シラバス入稿の手引き(2017年度版)」に基づき、「成績評価の方法・基準」の「受講態度」について審議がなされ、その結果、現行のまま残すこととし、使用する場合は内容を明記することを確認した。また、今回より新たに「成績評価の基準」を明記することを再確認した。

#### 7. 教育実習等における出席の取り扱いについて

教職センター運営委員会での議論を受け、教育学部及び教職課程を履修している学生が、以下の理由で講義を欠席した場合、全学的にその欠席について配慮することが審議され、異議なく承認された。

- ・ 教育実習期間
- ・ 介護等体験実習期間
- ・ 実習の事前打ち合わせ日
- ・ 授業におけるボランティア活動の事前打ち合わせ日(遠方の場合は移動日も含める)

なお、教育実習等を含む欠席により2/3以上の出席を満たすことができなくなった場合、実習等の欠席回数範囲で配慮することとする。ただし、教職課程を履修している学生に対しては、教育実習等以外の欠席について従来どおり適正に指導していくよう、教職センターに依頼することとした。

### viii) 第8回 平成28年12月19日(月)

#### 1. 各学部の2017年度カリキュラムについて(カリキュラムマップ)

各学部において修正された2017年度カリキュラム案が提示され、学科DPを含め現時点で確定とし、今後大幅な修正以外は学部に一任することとした。

#### 2. 他学部開放科目

大学の全学共通教養科目における短期大学部への開放科目が示され、了承された。学部独自の教養科目については、次回本委員会までに各学部において検討することを確認し、総合経営学部においては、編入生受け入れに伴う読み替え科目等について、短期大学部と調整することを確認した。

#### 3. 学科のDP・CP

各学部の体裁を整えた案が提示され、意義なく承認された。また、パンフレットにおいてはそれぞれ

の学部のページに配置されることが、再度確認された。

#### 4. 次年度時間割案

検討を重ね、調整された各学部学科の時間割案が示され、非常勤、兼担については確定とした。

#### 5. 規程について

「松本大学履修規程」、「松本大学松商短期大学部履修規程」、「松本大学総合経営学部進級に関する規程(改訂)」、「松本大学人間健康学部進級に関する規程(改訂)」、「松本大学教育学部進級に関する規程(新規)」について、全学協議会での指摘事項を修正した案が確認され、12月26日の全学協議会へ再度上程することとした。

### ix) 第9回 平成29年1月23日(月)

#### 1. 年間予定について

2018(平成30)年1月12日(金)のセンター試験準備日を通常講義日としていたが、全教員による打ち合わせ会議などがあることからこれを取り止め、代わりに1月5日(金)を通常講義日とする案が示され、異議なく承認された。

#### 2. 平成29年度学年暦

平成29年度の学年暦について説明がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

#### 3. 各学部の2017年度カリキュラムの確定

各学部学科の2017年度入学生カリキュラムに基づき、説明がなされ、担当者等一部変については各学部に一任することとし、異議なく承認された。

#### 4. カリキュラムツリーの確定と、履修モデルの作成

各学部学科の2017年度カリキュラムに基づき、カリキュラムツリーが示され異議なく承認された。

#### 5. 次年度時間割案

次年度の各学部学科の時間割案について審議がなされ、異議なく承認された。

#### 6. 休講届兼補講希望届について

次年度から学部が増えることや全学共通教養科目がスタートすることを踏まえ、これまで随時行っていた補講の設定を、期限を設けて日時や教室の調整を行う必要があることから、新制度用の「休講届兼補講希望届」を使用することが提案され、審議の結果、異議なく承認された。

#### 7. スポーツ健康学科の再試験制度変更について

平成29年度以降入学生から、3年次進級時、4年前期にも実施することが、異議なく承認された。

### x) 第10回 平成29年2月21日(火)

#### 1. 他学部教職免許取得の履修について

本件について総合経営学部教務委員会にて再検討の結果、情報科教員免許課程の「教科に関する科目」のうち、3科目を他学科開講しないことで対応する旨報告、提案され、異議なく承認された。

#### 2. 履修モデルの作成について

教職課程の再課程認定において、同一学科に複数の免許種を設置している場合に、各課程の履修モデル及び各学部の履修細則が必要となることについて説明がなされた。これを受け、教職課程に関する履修モデルについては、再課程認定に対応するカリキュラム変更とともに、各学部において次年度前期を目処に作成することとした。

併せて、学科の学びに関する履修モデルについては、各学部学科の実情に合わせて検討、作成することとした。また、履修細則については、人間健康学部は3月中に作成し4月教授会で承認を得よう準備を進め、総合経営学部は、履修モデルの検討状況に合わせ次年度前期を目標に作成することを確認した。

#### 3. 次年度時間割案

各学部間において教室調整を行い、具体的な使用教室名を明記した次年度時間割表案が提示され、承認された。

#### 4. 出欠の管理について

適正な出欠管理について各教員に依頼する文書案が示され、授業の代返の対応、教育実習（看護実習を含む）等による欠席の取り扱い及び短期大学部の第1週目からの対応について審議され、一部文言修正の上、承認された。

また、教育実習等による欠席の扱いは、全学教務委員長及び教職センター長名で発行される「欠席配慮願」を使用して、教務課から各科目担当教員へ連絡することを確認した。この出欠に関する取扱いは新年度より実施する。

#### 5. 2017年度学務関連事項の取り組みスケジュール

次年度は、教職課程の再課程認定をにらみ、本年度同様に前倒しの日程で進めていく。特に、文部科学省への事前相談を10月に行う予定であることから、カリキュラム表は平成30年度及び平成31年度のもを同時に検討し、次年度9月までに平成30年度カリキュラム表の確定、10月までに平成31年度カリキュラム案を作成すべく依頼がなされた。関連して、今後、再課程認定準備委員会（仮）が立ち上げられ、再課程認定に対して本格的に対応を進めていくことが報告された。

さらに、短期大学部において4学期制が開始されることによる学務関連事項の変更点を確認された。

#### 6. 今年度の振り返り及び次年度目標について

資料に基づき、本年度、本委員会において取り組んだ教学改革・事項を確認した。また、次年度の取り組み目標について説明がなされ、これに上述の履修モデル及び履修細則を加えて、承認された。

## 2) 共通教養センター運営部会

各学部選出委員及び教務課職員を構成員とする共通教養センター運営部会は、全学教務委員会の下におかれ、本学における共通教養の推進と運営に関する諸事項について審議し、一定の結論を得た上で、必要な事項については全学教務委員会に上申する任務を担っている。今年度の主要な課題は、昨年度大まかに合意を得た、課題などのテーマで科目を大括りにして学生に分かりやすく示すモジュール方式による教養科目の共通化と、それを踏まえた理念・目的の確定であった。

以下、各回会議において審議・承認された事項を中心に、今年度の活動状況を概述する。

### i) 第1回 平成28年4月25日(月)

#### 1. 平成29年度共通教養科目について

平成29年度の共通教養科目について、昨年度までに行った議論内容を共有した上で、以下の2点を確認した。

- ①本運営部会は、各学部から共通教養化する科目を持ち寄り、その該当科目に関することを議論・調整する場とし、各学部教務委員会及び教授会を経て、全学教務委員会において決定する。
- ②教育学部の教養課程を共通科目のベースにして、科目区分の名称及び科目名称、開講学年などを共通化することを考慮しながら、各学部において検討を進める。

なお、共通教養科目に関する課題としては以下のことが挙げられた。

- ・各学部による教養科目の扱い
- ・通年科目と半期科目について
- ・単位数が異なる科目について
- ・学部ごとで異なる必修科目と選択科目について
- ・開講学年の差異について
- ・教養のモジュールに配置されない科目について
- ・科目の主担となる学部・学科について

### ii) 第2回 平成28年5月30日(月)

#### 1. 平成29年度共通教養科目について

前回確認された、教育学部の教養科目をベースにして、科目区分の名称と科目名称、開講学年などを

共通化すること及び、一学部のみを開講されている教養科目の再配置等について、両学部の検討結果が示された。それを基に論議し、さらに両学部案を反映したものを現時点での原案として、以下の点に留意しつつ、両学部において検討を行い、6月13日(月)までに教務課に検討結果を提出し、次回部会で再協議することとした。

#### ①科目区分

- ・教養科目の区分名称は原則共通化を図るが、第二区分である「○○科目群」「科目群」という名称を専門科目にも適用するか。また、総合経営学部から出された、科目群を付しない名称案について、人間健康学部で検討する。
- ・日本語入門、日本語応用、日本事情ⅠⅡについて、留学生支援の科目区分を設けるか否か。

#### ②科目名称

- ・共通化できる科目名称は原則共通化を図ることを前提として、既存学部の共通教養科目である「文学」を「地域と文学」に変更することについて。

#### ③単位数

- ・単位数の異なる科目は名称が統一されていても別科目となるため、単位数も共通化を図りたい。それを踏まえ、総合経営学部案である「基礎ゼミナール(通年4単位)」を共通科目案の「基礎ゼミナールⅠ(前期:1単位)」、「基礎ゼミナールⅡ(後期:1単位)」に統合することについて検討する。

#### ④開講期

- ・クラス数や科目担当者のコマ数の調整を踏まえ、学部により前期・後期を決定する。

#### ⑤配当学年

- ・共通化するため、原則として配当学年(レベル)を統一したいが、学部のCP上、変更が必要な科目を検討する。

#### ⑥教育学部にはない、既存学部の教養科目の共通化

- ・人間健康学部の科目はすべて共通化するため、総合経営学部において履修を認めるか否か。また、総合経営学部の科目で共通化(開放)できる科目の検討を行う。

#### ⑦廃止科目

- ・キャリア実践を廃止することについて。

#### ⑧カリキュラム表

- ・3学部共通のカリキュラム表(履修可能な科目の○×一覧)とするか、各学部ごとのカリキュラム表(履修可能な科目のみの一覧)とするか、科目区分の調整を含めあらためて検討する。

### iii) 第3回 平成28年6月16日(木)

#### 1. 平成29年度共通教養科目について

前回までの議論に基づき、検討課題となっていた部分について、両学部での検討結果を集約した共通教養科目案が示され、それに基づいて議論し、以下の結論を得た。

##### ①既存科目の開放

- ・「学校ボランティア活動」は、小学校へのボランティア活動が主たる内容となるため、共通教養化しない。

##### ②科目区分名称

- ・総合経営学部のみ、第2科目区分にある「科目群」の表記を削除し、第2科目区分全体を示す欄に「科目群名」と記載する。なお、人間健康学部については、教育学部と同様に第2科目区分に「○○科目群」を付す。

##### ③学部による科目区分の変更

- ・ヒューマンベシックスの「地域を考える科目群」及び「キャリア教育科目群」の2つについては、総合経営学部のみ設けず、当該科目群中の「地域課題研究」、「キャリア入門」の2科目を「大学で学ぶための基礎」へ配置変更する。
- ・「人間といのちを考える科目群」の名称については、総合経営学部も「こころと体の健康」を開講する



こととし、それを踏まえて名称を統一する方向で再検討する。加えて、同区分内のその他の人間健康学部科目について、総合経営学部として共通化する(できる)科目を検討する。

- ④留学生支援科目群の創設
  - ・「留学生支援科目群」を、総合経営学部及び人間健康学部共通に設置し、コモンベシックスに配置する。
- ⑤「地域と文学」への名称変更
  - ・同科目の名称変更については、総合経営学部は同科目を配置せず、人間健康学部は、「文学」との読み替えで対応する方向であるが、読み替えの方法及び既存科目の「文学」から「地域と文学」へ切り替えるタイミングを精査し、学生に不利益のないように留意する。
- ⑥共通科目の単位数
  - ・単位数の異なる「基礎ゼミナールI・II」については、総合経営学部のみ「基礎ゼミナール(1年通年4単位)」とし、共通化しない。
- ⑦共通科目の開講期・学年
  - ・開講期及び配当学年について、原案をベースに、CP上変更が必要な場合のみ、次回部会において申し出る。
- ⑧カリキュラム表
  - ・学生に表示するカリキュラム表については、学部ごとに開講する教養科目を表記した一覧表とする。

#### iv) 第4回 平成28年6月30日(木)

##### 1. 平成29年度共通教養科目について

前回までの議論と決定事項を踏まえ、検討課題となっていた部分について各学部の教養科目カリキュラム表が示され、審議の結果、以下の結論を得た。

- ①カリキュラムについて
  - 【両学部共通】**
    - ・『地域企業特論』と『地域課題研究』については、「現代の日本社会を理解する(科目群)」の科目群への配置を念頭に、専門科目との整合性を含めて検討し、その結果を次回部会までに等々力部長に報告する。
    - ・ヒューマンベシックスの「人間といのちを考える(科目群)」の名称を統一する。
  - 【総合経営学部】**
    - ・『文学』については、名称変更を検討していたが『文学』のままとする。
    - ・『地理学』と『芸術文化』については、「現代の日本社会を理解する(科目群)」の科目群に配置する。
    - ・『日本国憲法』については、開講年次を1年後期から1年前期に、『情報処理V(ホームページ)』を3年前期から1年後期とする。
  - 【人間健康学部】**
    - ・人間健康学部の『QOLと健康』については、専門科目に配置する。
    - ・人間健康学部の『情報処理II(EXCEL初級)』を1年後期から1年前期、『キャリアデザインI』を3年前期から2年後期に、『キャリアデザインII』を3年後期から3年前期とする。
- ②時間割の作成について
  - ・今回承認された教養科目を基に共通教養科目の時間割作成作業を始めることとし、次年度の時間割作成については、3学部が共通して開講できる時間を確保するため、①共通科目、②非常勤科目、③兼担科目、④各学部の科目という優先順位で作成していく。9月には第1案を提示する予定である。
- ③共通教養のDP・CPについて
  - ・共通教養のDP・CPについては、次年度より教育学部が設立されることから見直すことが確認され、9月には案を本部会に提案する。

### v) 第5回 平成28年9月9日(金)

第4回部会議事録を確認の上、7月22日(金)から7月26日(火)の間に行われた以下のメールによる審議・承認内容について改めて確認がなされた。

#### 【メール審議内容】

- ①「食生活論」は健康栄養学科の専門科目とする。
- ②「生活の中の有機化学」を共通教養科目から削除する。
- ③「学校ボランティア活動」の単位数は2単位ではなく1単位である。
- ④「スポーツとノーマライゼーション」の単位数は2単位ではなく1単位である。

#### 1. 平成29年度共通教養科目について

これまで科目区分が保留となっていた2科目(「地域課題研究」、「地域企業特論」)について、総合経営学部教務委員会で結論を得たので、以下のとおり承認した。

- ①「地域課題研究」は、総合経営学部の教養科目カリキュラムに『地域を考える』科目群を設置していないため、『現代の日本社会を理解する』科目群に配置する。
- ②「地域企業特論」は、原案どおり『現代の日本社会を理解する』科目群に配置する。

以上に加え、教養科目のカリキュラム表における並び順について、原則、配当年次を基本として配置し、各学部学科の教養科目カリキュラム表ごとに、科目順序の検討を行うこととした。また、専門科目との関連で、教養科目の配当年次及び期を変更することについて審議がなされ、原則教養科目は現状のままとし、専門科目において調整を図ることとした。

#### 2. 全学共通教養科目の理念・目的等について

別紙のとおり、全学共通教養科目の目的について、中央教育審議会の動向及び本学の状況を加味した案が示され、次回の本部会までに各学科の意見を集約することとした。

### vi) 第6回 平成28年10月24日(月)

#### 1. 平成29年度共通教養科目について

各学部の教養科目カリキュラム表における科目の並び順及び、その他の検討課題について、各学部で検討した結果を確認し、承認がなされた。

#### 【総合経営学部】

- ・科目の並び順は原案のとおりとする。
- ・「生活環境論」の科目読み替えについては継続審議とする。

#### 【人間健康学部】

- ・科目の並び順は原案のとおりとする。
- ・健康栄養学科における体育実技科目の開講方法については継続審議とする。

#### 【教育学部】

- ・科目の並び順は原案のとおり(文部科学省への提出書類と同一にする)。

なお、上記「生活環境論」と「体育実技」については、それぞれ学部内において結論を出した後、本部会委員にメールにて確認を得ることとした。

#### 2. 全学共通教養科目の理念・目的等について

前回示された全学共通教養科目の理念・目的について各学部で確認し、異議なく承認した。また、イメージ図については、全体的には承認されたが、細部については今後詰めることとし、本案を次年度の大学案内(ポリシーの関係は、各学部案内の初めに掲載することを要望する)及び、大学ホームページ等に掲載していくことを確認し、全学教務委員会での審議を経て、広報担当者に掲載方法等を要望し、調整していくこととした。

## 3) キャリア教育センター運営部会

### (a) 業務内容

今年度は、各学部のカリキュラム改革の動向やキャリア教育の現状を把握する必要があるとあり、目立った活

動を行わなかった。しかしながら、松商短期大学部においては、現在就職委員会で行っている業務をキャリア教育センターに移管し、教育的な視点から現在の就職関連科目の内容を確認することとした。これに伴い、就職委員会の委員を1名とし、キャリア教育センター委員を6名に増員した。

#### (b) 活動内容

本年度は、2017年1月19日(木)に運営部会を開催した。

### 4) 資格取得支援センター運営部会

#### (a) 組織と会議

##### 1. 組織

全学協議会担当1名、代表1名(人間健康学部教員)、総合経営学部教員2名、人間健康学部教員2名、短期大学部教員1名、事務局5名

##### 2. 会議

資格取得支援センター運営部会 4月26日(火)・2月16日(木)

#### (b) 活動内容

##### 1. 奨励金の見直し

平成27年度より奨励金支給金額の新しい制度を設けており、その新制度で実施を始めた最初の年度であった。そのため、平成28年度の奨励金の支給金額をとりまとめるとともに、前年度までと比較して、支給金額全体の変化や変化の大きい資格などを注意深く確認し、次年度に向けた奨励金の見直しの方向を決定した。平成28年度からの新しい奨励金の資格や金額は、新年度の最初の部会にて審議し以下の資格に対して奨励金支給を決定した。

- ・証券外務員1種: 50,000円(授業トップレベルを大きく超えるもの)
- ・ニュース時事能力検定  
準2級: 3,000円(授業トップレベル、授業料相当)  
2級: 10,000円(授業トップレベルを超えるもの)  
1級: 30,000円(授業トップレベルを大きく超えるもの)

##### 2. 公務員試験対策講座

###### ① 公務員試験対策講座の実施

前年度に検討し開講を予定していた公務員試験対策講座を計画通り実施した。平成28年度に実施した講座と新規受講者は以下の表のとおりである。

対象学年	講座	新規受講者
学部4年	実践演習講座(教養)	9名
	実践演習講座(専門)	開講せず(H29より)
学部3年	基礎講座(教養)	14名
	基礎講座(専門)	11名
学部2年	プレ基礎講座(教養)	38名
	プレ基礎講座(専門)	12名
学部1年	基礎力養成講座	62名
短大2年	実践演習講座(教養)	5名
短大1年	プレ基礎講座(教養)	37名

###### ② 公務員試験対策講座オリエンテーションの実施

公務員試験対策講座の開講に先立ち、在学生へは後期試験中および在学生オリエンテーションの

時間を利用して在学生説明会を計7回、また後期から開始希望の学生にも5回実施した。

(前期開始希望者)

1月30日(月)～2月3日(金)：5日間の計5回

3月22日(水)・23日(木)：2日間の計2回

(後期から開始希望者)

7月4日(月)～7月8日(金)：5日間の計5回

また、新入生に関しては、入学後の説明会を下記のとおり実施した。

5月9日(月)～13日(金)：5日間の計5回

### ③模擬試験の実施

公務員試験対策講座の受講者以外にも対象とした模擬試験をLECの協力のもと、無料で実施した。

4月16日(土) 13:30～17:30

8月20日(土) 9:40～13:00

### ④合同会議(意見交換会)の実施

昨年度、計画されていた本部会だけではなく、基礎教育センター、キャリアセンター、学部公務員対策講義担当教員、東京リーガルマインド(LEC)を含めた関係者での合同会議を3回開催し、受講料の見直しを検討し一部増額すること及び、夏期講習会の有料化について確認された。現在の講座や学生の問題点等を話し合い、次年度の講座の方針を決定した。

## 5) 基礎教育センター活動報告

### a) 基礎教育センター組織

①センター運営委員長として人間健康学部健康栄養学科 福島智子准教授が就任

オブザーバーとしてエクステンション機構長の等々力賢治教授

センターのメンバーは代表1名、オブザーバー1名、担当教員4名、事務担当1名、合計7名

### b) 年間活動の概要

4月 新入生オリエンテーションで広報

センターツアーの受け入れ(総合経営学部新入生)

「朝の学習講座」開始(基礎英語、SPI数学、基礎数学、時事問題、国語)

短大部キャリアスタンダードI前期授業で「一般教養解説コース」授業(15回)開始

学部「地域社会と大学教育」30分間の基礎教養講座(総合経営12回、人間健康11回)

スポーツ健康学科「一般教養基礎問題」開始 スポーツ健康学科1・2年生(後期まで全6回)

5月 スポーツ健康学科「大学入門」「スポーツ科学入門」で基礎学習、基礎教養実施

(1年/前期3回・後期5回、2年/前期2回・後期2回)

健康栄養学科「大学入門」国語2回、数学1回

「入学前学習用問題集」返却

6月 短大部キャリアクリエイティブⅢ「就職試験対策講座」(全6回)

LECの公務員講座サポート開始(SPI非言語、SPI言語 16回)

「春期課題問題集」採点開始(学生アルバイト)

7月 人間健康学部3年「キャリアデザインⅡ」SPI試験解説(各1回)

「春期課題問題集」返却、「夏期課題問題集」作成・印刷・配布

「基礎教育センターだより」発行(年4回)

8月 短大部後期オリエンテーションで広報



- 9月 学部1～3年後期オリエンテーションで広報  
短大部「キャリアスタンダードⅡ」での一般教養対策講座開始 授業(15回)開始  
「夏期課題問題集」回収と採点開始(学生アルバイト)  
総合経営学部3年「社会教養」の問題作成(全13回分)
- 1月 「入学前学習用問題集」・「春期課題問題集」の作成・配布
- 3月 在学生オリエンテーションでの広報  
「夏期課題問題集」返却・「春期課題問題集」回収

c) 学生の学習支援活動の内容

①キャリア連携対策講座

講座名	担当者	回数	対象
キャリア・スタンダードⅠ(解説コース)	福嶋・日野谷・田野口・丸山	30	短期大学部1年生
キャリア・クリエイトⅢ	福嶋・日野谷・田野口・丸山	6	短期大学部2年生
キャリアデザインⅡ	日野谷	2	人間健康学部3年生
キャリア・スタンダードⅡ	福嶋・日野谷・田野口・丸山	30	短期大学部1年生
合計		68	

②基礎教養講座

講座名	担当者	回数	対象
地域社会と大学教育	福嶋・日野谷(住吉)・田野口・丸山	12	総合経営学部1年生
地域社会と大学教育	福嶋・日野谷(住吉)・田野口・丸山	11	人間健康学部1年生
大学入門(計算力と文章表現)	日野谷・丸山	3	健康栄養学科1年生
大学入門(基礎学習)	福嶋・日野谷・田野口・丸山	8	スポーツ健康学科1年生
スポーツ科学入門(基礎教養)	福嶋・日野谷・田野口・丸山	4	スポーツ健康学科2年生
合計		38	

③LEC公務員講座

講座名	担当者	回数	対象
基礎力養成講座	日野谷・田野口・丸山	16	学部1年生
合計		16	

④基礎学力維持のための「朝の学習講座」の開講

講座名	担当	回数	学部	短大	合計
朝の学習講座(基礎数学)	日野谷	29	158	187	345
朝の学習講座(SPI数学)	日野谷	28	133	161	294
朝の学習講座(時事問題)	福嶋	28	118	98	216
朝の学習講座(基礎英語)	田野口	28	117	112	229
朝の学習講座(ことばの力)	丸山	31	86	122	208
合計		144	612	680	1292

⑤「一般教養基礎問題」の実施

学科	学年	前期回数	後期回数	合計
スポーツ健康学科	1	6	2	8
スポーツ健康学科	2	5	2	7
合計		11	4	15

## d) 基礎学力向上のための対策

## ①漢検・数検・ニュース検受験者

検定名	担当	実施回数	受験者数	合格者数
実用数学技能検定	日野谷	1	7	2 (一次or 二次合格者 4名)
日本漢字能力検定	丸山	3	72	18
ニュース検定	福嶋	2	29	13

上記受験者の学習指導として随時対応。

## ②新入生向け「入学前学習用問題集」の作成と配布・採点

学部・学科	配布対象者	人数	提出数	提出率
総合経営学科	全員	82	80	97.6
観光ホスピタリティ学科	〃	82	76	92.7
スポーツ健康学科	〃	100	99	99.0
教育学部	推薦合格者のみ	9	9	100.0
短大部	全員	221	215	97.3
合計		494	479	97.0

## ③在学生向け「春期課題問題集」の作成と配布・採点

学 科	学年	配布数	提出数	提出率
総合経営学科	1	114	51	44.7
観光ホスピタリティ学科	1	99	32	32.3
スポーツ健康学科	1	97	53	54.6
合計		310	136	43.9

## ④在学生向け「夏期課題問題集」の作成と配布・採点

学 科	学年	配布数	提出数	提出率
総合経営学科	1	114	87	76.3
観光ホスピタリティ学科	1	101	55	54.5
健康栄養学科	1	83	76	91.6
スポーツ健康学科	1	103	73	70.9
短期大学部	1	235	201	85.5
合計		636	492	77.4

全学部1年生全員へ配布。

## ⑤来室学生への質問対応、自習室としての利用

数学・国語・社会・英語などの質問への対応、自習などの利用者は延べ1,921名。

## e) 学生・教職員等への広報活動

- ①オリエンテーション・講義時間内での広報
- ②「基礎教育センターだより」の定期的な発行(年4回)
- ③活動内容を松本大学のホームページに掲載
- ④メソフィアのメールによる学生への連絡配信・センター前掲示板での広報・連絡

## (2) 教育改善推進委員会

教育改善推進委員会は、教育企画推進部会とFD・SD運営部会からなり、研究科・学部・学科単位での教育の企画推進と教育改善および職員の業務改善のための活動を支援している。

## 1) 教育企画推進部会

平成28年10月4日、松商短期大学部より予算の補正申請を受けてメール審議を実施し、了承された。申請の内容は、学生貸与のiPad miniのソフトレザーカバーの買い替えであり、申請経費は610,000円であった。

平成28年11月25日、教育企画推進経費について各学部学科における次年度の予算申請を依頼した。

平成29年1月6日、次年度の教育企画推進経費予算申請を締め切った。申請内容は以下のとおりである。

- ・ 総合経営学科「『道の駅 中条』と連携した経営の創造・協働教育の推進」
- ・ 観光ホスピタリティ学科「国内旅行取扱・社会福祉士の資格取得強化策の取り組み」
- ・ 健康栄養学科「管理栄養士国家試験受験支援」
- ・ スポーツ健康学科「大学入門ゼミナールでの学習手法の習得と学習時間の獲得」
- ・ 松商短期大学部「オリジナルテキストの制作」「情報処理検定受験支援」

スポーツ健康学科の申請以外は今年度からの継続的取組であり、その継続性に意味を見出せることから了承された。また、スポーツ健康学科の新たな取組についても、当該学科の組織的な教育活動であるとの判断から異議なく了承された。

## 2) FD・SD運営部会

FD・SD運営部会は、前年までの活動を継続しつつ、より良い教育となるよう活動を見直しながら推進した。

### a) 委員会開催

- ・ 平成28年4月14日(木) 13:30~14:30

自己点検・評価報告書、授業アンケート日程、授業参観日程、卒業生アンケート結果の修正依頼、学内研修会について、FD・SD活動の進め方などについて議論した。

- ・ 平成28年7月25日(月) 16:50~18:00

授業アンケート集計結果に5段階評価の人数や割合を示すことについて、FD・SD研修会の内容について、今後のFD・SD活動について議論した。また、前期の授業参観報告書提出状況や、部署ごとのFD・SD活動状況について報告された。

- ・ 平成28年11月17日(木) 15:10~15:55

授業アンケート回収方法について、授業アンケート質問項目の授業外学習時間の変更について、前期授業アンケート集計結果について、卒業生アンケート質問項目、十文字学園女子大学との協定についてなどが議論された。また、前回会議後に行われたFD・SD活動について報告された。

- ・ 平成29年2月16日(木) 13:30~14:30

授業アンケート質問項目の授業外学習時間の変更が決定された。また、大学院と教育学部での授業アンケートについて、今後の授業参観について、自己点検・評価報告書について議論された。また、前回会議後に行われたFD・SD活動について報告されるとともに、今年度実施の卒業生等へのアンケートの内容確認が依頼された。

### b) 事業・活動

#### ① 授業アンケート

通常の15回の授業中、6~9回目授業において中間アンケート、および、およそ13回目授業以降に「授業についての学生アンケート(授業アンケート)」を実施するよう依頼した。中間アンケートはすべての授業での実施が依頼され、内容は自由であるが、平成25年度に作成された雛形を任意で使用するように配布した。授業アンケートは、専任教員においては前後期各2科目程度、および、非常勤教員の全科目において実施した。アンケート項目は、今年度から学修到達目標の達成度についての質問も加えて7項目となり、それに伴って各授業で学修到達目標をしっかりと学生に伝えるよう依頼した。

アンケートのデータ集計後には、各授業担当者に「改善計画等」の記入を依頼した。同様に、各区分

別集合データには学長、学部長、学科長、全学教務委員長などに「改善計画等」の記入を依頼した。以上の内容について点検および校正の後、「授業についての学生アンケート集計報告書～分かりやすい授業を目指して～」の松本大学版、および松本大学松商短期大学部版を発行した。なお、改善計画等の依頼時には、後期の授業アンケート結果の集合データをもとに、区分別データの経年変化、履修人数別比較、および区分別の比較などについて文書で報告した。それを参考データの一つとして、改善計画等について記入を依頼した。

今年度から、アンケート集計結果の各ページに、S～Dまでの5段階評価の人数と割合、および平均GPA数値を追加表示した。また、授業アンケートデータ読み取りシステムが導入されるのに伴って、改善計画等の記入がWEBを通して行われるようになった。次年度からは、授業外学習についての質問の時間設定をそれぞれ2倍にし、最大で2時間以上、最低で30分未満とすることを決定した。

## ②授業参観

半期中に約2週間の実施期間であった前年と異なり、今年度は、授業全期間を対象として授業参観への参加を促した。なお、参加率を高めるために、学部長からも参加を促進する発言をしてもらうとともに、およそ9～10回目の授業の頃にはキャンペーン期間としてメールで案内した。

前期においては全専任教員71人（4名の嘱託専任教員を含む）中、46名から「授業参観アンケート用紙」が提出され、参加率は64.8%であった。後期においては、42名から提出があり、参加率は59.2%であった。

## ③卒業生等へのアンケート

前年度（平成27年度）実施のアンケート結果をもとに、各部署でFD・SD活動を行うよう依頼した。それにより、一部の部署で、教育活動や学校運営業務の改善についてディスカッションが実施された。

また、各学部の「卒業者アンケート」および松商短期大学部の「在学生アンケート」について、一部質問項目を見直し、後期末のオリエンテーションで実施した。集計し、個人名の秘匿などチェックの後、自己点検・評価報告書に掲載される。

## ④FD・SD研修会

9月12日（月）に「大学におけるアクティブ・ラーニング」と題したFD・SD研修会を開催した。講師は早稲田大学教育・総合科学学術院の三尾忠夫氏であった。参加者は、専任教員39人、職員12人であった。

3月21日（火）に「Webシラバス・システムによる『学修成果』の可視化」と題したFD・SD研修会を開催した。講師は富山短期大学経営情報学科の坂井一貴氏であった。参加者は、専任教員29人、職員5人、外来者16人であった。

各部署でのFD・SD活動は、スポーツ健康学科で1回、松商短大部で6回、事務局で2回実施された。

外部でのFD・SD研修にも参加した。5月20日（金）に教育ソフトウェア主催「FD学習会2016」、8月29日（月）・30日（火）に「第6回大学コンソーシアム八王子FD・SDフォーラム」、8月29日（月）に諏訪東京理科大学でのSD研修、11月5日（土）・6日（日）に大学人サミット、12月から1月にかけて防災管理者資格取得講習などに参加した。また、十文字学園女子大学や共愛学園前橋国際大学と連携協定が結ばれ、2月22日（水）には共愛学園前橋国際大学におけるFD・SD研修会に参加した。

## ⑤その他

新人研修を実施するよう、新任者のいる学部長および事務局長に依頼した。

## (3) 教職センター運営委員会

### a) 平成28年度履修状況

学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
総合経営学部	総合経営学科	4	2	2	5	13
	観光ホスピタリティ学科	10	5	4	2	21



人間健康学部	スポーツ健康学科	34	20	29	25	108
	健康栄養学科	4	10	3	7	24
合計		52	37	38	39	166

(平成28年12月31日現在)

## b) 会議開催

- 教職センター専任会議 11回 4/7(木)、5/11(水)、6/8(水)、7/6(水)、9/7(水)、10/5(水)、11/2(水)、12/7(水)、1/11(水)、2/8(水)、3/22(水)
- 教職センター運営委員会 3回 6/9(木)、11/2(水)、2/28(火)
- 教職科目担当代表者会議 2回 4/28(木)、11/2(水)
- 教育実習連絡会議 3回 4/28(木)、1/26(木)、2/28(火) メール審議:2/1(水)
- 小学校教諭2種免許状取得支援プログラム会議 なし
- 教員採用受験指導センター運営部会 2回 6/9(木)、2/28(火)
- 教員免許状更新講習準備委員会 3回 10/13(木)、12/7(水)、12/22(木)

## c) 出版

『松本大学教職センター 授業実践報告シリーズ13』の発行 2017.3.31

## d) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

平成28年5月14日 2016年度 定期総会報告・合同研究大会・全国私立大学教職課程研究連絡協議会 於：早稲田大学早稲田キャンパス 10号館109教室 川島一夫教授参加

## e) 教員免許状更新講習

## 【選択領域講習】

- 6月4日(土) 「体質に関わる遺伝子型解析実験」  
講師：山田一哉、高木勝広、浅野公介、羽石歩美
- 6月11日(土) 「ミクロの世界をのぞくー細胞を見る（正常の細胞から癌細胞まで）」  
講師：江原孝史
- 6月12日(日) 「経済のグローバル化と日本社会の変容」講師：糸井重夫（開講せず）
- 6月18日(土) 「消費者保護の法律問題」講師：増尾 均
- 7月2日(土) 「園児・児童・生徒の理解に役立つ性格心理学」講師：中山文子
- 7月9日(土) 「地域の歴史をどう伝えるか」講師：木村晴壽
- 7月10日(日) 「生命倫理学入門」講師：福島智子（開講せず）
- 7月24日(日) 「地域資源の魅力と活かしかた」講師：山根宏文
- 8月21日(日) 「栄養教育・給食管理・栄養調査に活かす食事摂取基準と食品成分表」  
講師：廣田直子
- 8月27日(土) 「結婚と結婚式 その変遷と現状」講師：小澤岳志
- 9月3日(土) 「美味しさの調理学」講師：石原三妃
- 9月4日(日) 「小学生用の環境を使ったプログラミング入門」講師：室谷 心
- 9月17日(土) 「ジェンダーとスポーツ法」講師：新井喜代加
- 9月18日(日) 「子どもの食物アレルギー、基礎から応用まで」講師：沖嶋直子
- 9月24日(土) 「こどものこころとからだの健康」講師：矢崎久、中島節子
- 10月1日(土) 「現代社会とスポーツ」講師：等々力賢治
- 10月9日(日) 「中学校用の『インターラクティブ』英語学習ー理論と実践例」  
講師：フレデリック・カルース、ペーター・ヴァンデンベルグ（非常勤）
- 10月30日(日) 「幼児と児童の健やかな成長のために」

- 講師：犬飼己紀子、中島節子、藤枝充子  
 11月5日(土) 「マーケティングを活用したコミュニケーションのスキルアップ講座」  
 講師：金子能呼  
 11月6日(日) 「ベースボール型の授業づくり」講師：岩間英明  
 11月27日(日) 「社会福祉を取り巻く動向」講師：尻無浜博幸、八田桂子(非常勤)

【必修領域】

- 8月8日(月) 「教育の最新事情」講師：川島一夫、藤枝充子

【選択必修領域】

- 8月9日(火) 「“前向き”を引き出す教育相談 基本から実践まで」  
 講師：鈴木俊太郎(非常勤)  
 8月9日(火) 「教育の情報化 はじめの一步」講師：室谷心  
 8月9日(火) 「保護者対応のあり方と学校における危機管理について」講師：小松茂美  
 8月9日(火) 「道徳教育」講師：征矢野達彦  
 8月9日(火) 「学級経営や授業展開に役立つ教育相談の基礎」講師：岸田幸弘

f) 教職専門職への就職実績

総合経営学部	0名
人間健康学部	10名
教育系大学院進学	4名

g) 平成28年度 教職センター活動日誌(抜粋)

- 4月7日 第1回教職センター専任会議を開催  
 4月14日 3年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」・「教育実習ガイダンス」  
 4月14日 4年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」・「教育実習ガイダンス」  
 4月15日 2年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」  
 4月21日 教員免許状更新講習教員説明会を開催  
 4月28日 第1回教職科目担当代表者会議を開催  
 4月28日 第1回教育実習連絡会議を開催  
 5月11日 第2回教職センター専任会議を開催  
 5月7日 第1回梓友会の開催 於：ホテルモンターニュ  
 5月14日 定期総会報告・合同研究大会、全国私立大学教職課程研究連絡協議会への出席  
 5月28日・29日 全国私立大学教職課程研究連絡協議会第36回研究大会に参加  
 6月8日 第3回教職センター専任会議を開催  
 6月9日 第1回教職センター運営委員会を開催  
 6月9日 第1回教員採用受験指導センター運営部会を開催  
 6月27日・7月4日 「地域社会と大学教育」人間健康学部において教職課程の説明  
 6月30日・7月7日 「地域社会と大学教育」総合経営学部において教職課程の説明  
 6月30日 集団面接の練習教員採用一次試験向けの練習  
 7月6日 第4回教職センター専任会議を開催  
 7月9日・10日 長野県教員採用選考第1次選考  
 7月11日～22日 平成28年度教職課程履修受付  
 8月12日 教員採用試験対策面接講座を開催  
 9月7日 第5回教職センター専任会議を開催  
 9月8日 京都産業大学からの視察

- 9月12日・17日 個人面接・模擬授業の練習教員採用二次試験に向け面接・論文の練習  
 9月17日・25日 教育学部説明会への協力  
 9月29日 「教育実践特講」のオリエンテーション  
 10月3日 「教育実践特講」の授業で松本美須々ヶ丘高校を授業参観  
 10月5日 第6回教職センター専任会議を開催  
 10月6日 「教育実習事前事後指導」ガイダンス  
 10月8日 教育学部AO入試への協力  
 10月13日 第1回教員免許状更新講習準備委員会を開催  
 10月20日 在学生向け教員採用試験に関する対策講座「教員採用試験対策—教育法規と教育時事を中心に—」 講師：時事通信出版局  
 10月31日 盛岡大学への視察  
 11月2日 第7回教職センター専任会議を開催  
 11月2日 第2回教職センター運営委員会を開催  
 11月2日 第2回教職科目担当代表者会議を開催  
 11月10日 第1回平成28年度教育実習報告会  
 11月11日 「教育実践特講」の授業で白馬北小学校・白馬中学校を授業参観  
 11月11日 東海学園大学愛知東邦大学への視察  
 11月17日 第2回平成28年度教育実習報告会  
 11月24日 第3回平成28年度教育実習報告会  
 12月7日 第8回教職センター専任会議を開催  
 12月7日 第2回教員免許状更新講習準備委員会を開催  
 12月15日 「教職実践演習」学級経営上の諸問題Ⅲ—教師に求められる人権感覚—  
 講師：中信教育事務所  
 12月15日 教職課程履修2年生ガイダンス 1回目  
 12月15日 教職課程履修2年生ガイダンス 2回目  
 12月16日 平成29年度教員免許更新講習開設計画書提出締切  
 12月15日 教職課程履修2年生ガイダンス 1回目  
 12月22日 第3回教員免許状更新講習準備委員会を開催  
 1月11日 第9回教職センター専任会議を開催  
 1月12日 小学校教諭二種免許状取得支援プログラム履修ガイダンスを開催  
 1月26日 第2回教育実習連絡会議を開催  
 1月28日 第2回梓友会の開催 於：松本大学  
 2月1日 教育実習連絡会議（メール審議）  
 2月6日・7日 「教育実践特講」の集中講義  
 2月8日 第10回教職センター専任会議を開催  
 2月28日 教職センター運営委員会を開催  
 2月28日 第3回教育実習連絡会議を開催  
 2月28日 第2回教員採用受験指導センター運営部会を開催  
 3月17日 平成29年度教育実習履修許可者掲示  
 3月22日 第11回教職センター専任会議を開催  
 3月29日 教職課程再課程認定準備委員会を開催

## 平成28年度教員採用試験の結果

## ■現役生

13S085 宮寄さや香 長野県小学校教諭 (補欠合格)

## ■卒業生

平成22年度卒業生	降籐優希	長野県栄養教諭	合格
平成25年度卒業生	遠藤真梨	長野県栄養教諭	合格
平成25年度卒業生	中村 歩	石川県中学・高等学校教諭	保健体育 合格
平成25年度卒業生	弓場ひかり	新潟県小学校教諭	合格
平成26年度卒業生	遊佐大樹	茨城県小学校教諭	合格
平成27年度卒業生	松澤美咲	長野県小・中・特支養護教諭	合格
平成27年度卒業生	両角彩里	長野県小・中・特支養護教諭	合格

#### (4) 図書館運営委員会

##### a) 組織

総合経営学部教員2名、人間健康学部教員3名(内1名健康科学研究科兼務)、短期大学部教員2名(内1名館長兼務)、事務局1名・業務委託5名

##### b) 委員会開催

平成28年5月25日(水) 15:30~16:30

- (1) 平成28年度の運営方針について審議された。
- (2) 図書の排架方法の見直しについて審議され、9月に再配架を行うことが承認された。
- (3) 松本大学図書館ゲストカードの運用開始を6月1日とすることで承認された。
- (4) 平成27年度利用統計の内容を見直し、新たな分析が行えるよう検討することが報告された。
- (5) 基礎ゼミ図書館ツアーの実施および今後の対応について報告された。
- (6) iPadの運用開始が6月1日となる旨報告された。
- (7) 図書館企画の実施を強化することが報告された。
- (8) 委託業者との指示系統、窓口について確認された。

平成28年7月20日(水) 13:30~15:00

- (1) 長期(夏休み)貸出期間および卒論貸出(受付期間、貸出期間)について審議、承認された。
- (2) 図書館システムのサービス拡大に先立ち、教職員への督促通知を行うか審議、承認された。
- (3) レポート論文書き方講座の提案がされ、審議の結果承認された。
- (4) 4月~6月の活動および利用統計が報告された。
- (5) 9月1日~9日まで再排架のため休館にすることが報告された。
- (6) 図書館要覧2015の進捗報告がされた。
- (7) 学科別学生用図書の選定を例年通り行うため、各委員へ依頼された。
- (8) OPACバージョンアップについて報告された。
- (9) 中部電力計画停電に伴う開館時間の変更(8月10日 9時~17時)が報告された。
- (10) 9月2日に長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会が本学にて実施されることが報告された。

平成28年10月19日(水) 13:30~15:10

- (1) 教職員への督促通知の方法および紛失資料の対応について審議された。
- (2) 学科別学生用図書の選定に非常勤講師の要望も集約するかを審議、承認された。
- (3) 11月読書月間の企画イベントについて審議、承認された。
- (4) 7月~9月の活動および利用統計が報告された。
- (5) レポート論文書き方講座の申込状況について進捗報告がされた。
- (6) 購読雑誌の見直しおよび新規購読アンケートの報告、新規購読について承認された。
- (7) 図書館公開講座10月16日「姜尚中氏講演会」の実施、12月18日「瀬戸内市の図書館」実施予定が報告された。

平成29年1月24日(火) 15:10~16:10

- (1) 平成29年度予算について審議の結果、承認された。



- (2) 10月～12月の活動および利用統計が報告された。
- (3) 教育学科設置による蔵書スペースの対策および書庫の整理と環境改善について検討の必要性が提案された。

c) 事業・活動内容

- (1) 図書館運営・サービスの方針及び計画の審議
- (2) 図書館利用の促進
- (3) 学科別図書の選定、および取りまとめ
- (4) 雑誌・データベースの講読・契約に関する審議

d) 図書館サービス・図書館利用促進業務

(i) 平成28年度利用実績

4月1日(金)～：図書館開館

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
254日	80,286人	4,380人	8,069冊	2,394人

(ii) 図書館オリエンテーション・ガイダンス

8月2日(火)・3日(水)：松商短期大学部後期図書館オリエンテーション

3月22日(水)：総合経営学部進級在学生図書館オリエンテーション

3月23日(木)：人間健康学部進級在学生図書館オリエンテーション

3月24日(金)：松商短期大学部進級在学生図書館オリエンテーション

ゼミナール別図書館ガイダンス

4/14総経1年(上野・小林(俊)・兼村・葛西)、4/21観光1年(益山・八木・大石・中澤)、5/18スポーツ1年(江原「大学入門」の1コマ)、5/26短大1年(伊東「図書館入門」の1コマ)、6/3司書科目(蛭田「図書情報資源概論」)、6/24栄養1年(「大学入門」の1コマ)

(iii) 通常開館

開館9:00 閉館20:30(土曜日17:00)

長期休業中の閉館は19:00(土曜日17:00)

(IV) データベース利用

6月9日(木)：ジャパンナレッジ講習会(伊東「図書館入門」の授業)

平成28年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

- ①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④信濃毎日新聞記事検索、⑤第一法規法情報、⑥ジャパンナレッジLib、⑦日経テレコン、⑧日経NEEDS・FinancialQUEST、⑨Eジャーナル(7タイトル、1パッケージ)

(v) 学外者利用サービス提供

図書館開館中は、学外者にも図書館サービス(貸出ほか一部サービスを除く)を行っている。平成28年度利用者は延べ797人であった。平成28年度から運用を開始した松本大学図書館ゲストカードの登録者は8名であった。

(vi) 図書の充実・整理

平成28年度受入図書数

図 書	ビデオ	CD	DVD	デジタル資料

和：4,628	洋： 110	0	3	129	0
全：4,738					

和雑誌	洋雑誌
561	38

## (vii) 蔵書点検

2/14 (火)～2/17 (金)

2016年度点検対象資料：図書館配架の和書のみ、洋書・研究図書・書庫は未実施

## (viii) 学生利用促進企画

- ①短期大学部教務委員会が行っている2016年度短期大学部入学予定者を対象とした「4月までの準備学習のススメ」の課題提出者に、読書スタンプラリー用のポイントカードを配布(1つ印済み)。リストは図書館HPにアップ。
- ②新入生オリエンテーション：4月6日(水)(人間健康学部・総合経営学部)  
4月7日(木)(短期大学部)  
図書館の時間がとられていないため、教務委員会、学生委員会の時間に図書館案内の動画を流してもらった。
- ③県内7短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」本展示  
県内7短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。  
第23号～第26号(年4回の発行)。秋には第4回ヨムゾー大賞を行った。
- ④グループ学習室利用：33回
- ⑤昨年度に引き続き、読書スタンプラリー実施(参加人数11人、レポート数156枚)  
図書館ホームページに対象図書リストをアップした。
- ⑥読書月間：11月1日(火)～11月30日(水)
  - ・学生☆教職員おすすめの1冊(本の紹介)
  - ・第4回ヨムゾー大賞：県内7つの大学・短大の共同企画。隣は何を読む人ぞう第21号～第24号で紹介された中から1冊を選んで投票する。
  - ・企画展示：ジビエ料理とお酒、恐怖の本棚(ホラー)、語学学習
  - ・体験コーナー：ブッカーかけを体験しよう(11/10(木)・22(火)3限)  
iPadを使って電子書籍を読んでみよう
  - ・現実的脱出ゲーム：図書館を巡り、OPACを使うなどして問題を解いていくゲーム。図書館の利用促進および図書館知識を深めてもらう目的で初めて開催。24名参加。
- ⑦卒論貸出
  - ・卒業論文用図書貸出のお知らせを掲示、ホームページ案内、卒業研究担当教員にメール配信
  - ・図書の貸出期間を1ヵ月とし、1回貸出延長可(最大2ヵ月貸出できる)
  - ・雑誌の貸出期間は2週間
  - ・貸出冊数は、通常の貸出冊数とは別に5冊まで
  - ・利用申請は随時受付  
申請者19名(学部：岩間ゼミ3名・室谷ゼミ2名・等々力ゼミ・中島節ゼミ・中島弘ゼミ・犬飼ゼミ・石原ゼミ・山田ゼミ・沖嶋ゼミ・尻無浜ゼミ各1名／短大：香取ゼミ3名・中村ゼミ・松原ゼミ・中山ゼミ各1名)図書50冊・雑誌5冊貸出
- ⑧昨年に引き続き、映画・ドラマの原作本を購入。映画の原作本は大学周辺の映画館で公開されているものに限り購入。随時更新する。
- ⑨本の展示  
新入生向け展示、クラフト特集、梅雨を楽しもう、選挙について考えよう、山へでかけよう、夏はじめ

ました、オリンピック関連、秋をみつけに、レポート・論文の書き方、クリスマスコーナー、直木賞&芥川賞受賞作、直木賞芥川賞過去の受賞作、春告鳥からの贈り物、本屋大賞、就活生応援フェア、学内講演会関連本、司書科目受講生の紹介する本 等

- ⑩ブクログ (Web上で見られる本棚。本の表紙画像や紹介文を掲載できる) に本の紹介文アップ (学生・教職員おすすめの1冊 (読書月間)、司書科目受講生の紹介する本)
- ⑪山田先生授業サポート:10/24 (月) 「バイオメディカル文章理解」  
授業にて文献検索法の講習行う。講師:伊澤和夏氏 (大学図書館支援機構)  
レポート・論文の書き方講座:10/28 (金) 30分の講座を2回実施 (同じ内容)。計33名の学生が参加。  
講師:丸善雄松堂研修講師。館内で関連資料の展示 (卒論提出期限まで)。
- ⑫データベーストライアル実施 (メディカルオンライン) :12月

#### (ix) 図書館広報関係発行物

- 「図書館利用案内2017」
- 「図書館だより」No.45~46 (学生向け)
- 「図書館要覧2016年度版」

#### (x) 巡回図書受け入れ

6月2日 (木) : 笠原書店・明石書店

#### (xi) 信州共同リポジトリ

松本大学研究紀要14号、地域総合研究第16号アップ。  
平成28年度の閲覧回数:8,736回、論文等のダウンロード数51,908回  
3月16日 (木) : 平成28年度信州共同リポジトリ年度報告会出席 (信州大学中央図書館)

#### (xii) 図書館公開講座

- 10月16日 (日) : 大学祭50回記念・松本大学図書館特別講演会「悩む力・心の力」  
講師: 姜 尚中氏 (東京大学名誉教授) 220名参加
- 12月18日 (日) : 「瀬戸内市の図書館づくり~もちより・みつけ・わけあう広場を目指して~」  
講師: 嶋田学氏 (瀬戸内市民図書館もみわ広場館長) 65名参加

### e) 資料・設備等の整備・管理業務

#### (i) 資料の整備

- ①進路に関するコーナー  
昨年度に引き続き、キャリアセンターと同じ資料を購入。2015年度末から2016年度初めに登録、配架
- ②再排架  
9月1日 (木) ~9日 (金) 図書の排架方法の見直しに伴う再排架作業を実施 (休館)  
館内サイン整備、図書館ホームページの館内案内変更
- ③ガイドブック新版へ入替 (楽楽・たびまる・るるぶ・地球の歩き方)
- ④レポート課題調査  
前期と後期に教員と非常勤講師に調査を依頼。返答のあった教員に対し、図書購入や関係図書を集めてコーナーを設置し対応。課題図書は貸出期間1週間で対応。
- ⑤教育学部開設準備の資料受入  
2月21日 (火) ・22日 (水) ・28日 (火) に納品、受入登録

#### (ii) 設備の新設・更新

- ①27年度予算でiPadを6台購入、6月より運用開始。利用申込み5件。

## ②新書架段数増設

## ③蔵書検索システムOPACのバージョンアップ

web上で利用者自身による資料の予約、延長、利用状況の確認が可能。予約本の貸出可能連絡メール、延滞者への督促メールが自動配信。

## ④入退館ゲート定期点検：3月1日（水）

## ⑤図書館システム「情報館」移設：3月6日（月）・7日（火）

カウンター内パソコン3台から4台へ

## f) 教職員サポート業務

## (i) 図書購入・図書費の管理

平成28年度研究図書費実績

(単位：円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
短大	商学	55,739	463,018
	経情	55,009	286,466
総合経営	総経	409,784	1,020,480
	観光	246,101	788,553
人間健康	栄養	141,600	106,748
	スポーツ	332,036	719,012
	研究科	255,318	542,551
合計			5,422,415
職員図書費			52,277

## (ii) 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献依頼	相互貸借	紹介状発行	国立国会図書館 デジタル化送信サービス
89	5	0	7

今年度から国立国会図書館デジタル化送信サービス開始

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を図書館内で利用できるサービス。

利用（複写申込み）内訳：学生1名（3件）・教員2名（4件）

## (iii) 司書科目授業協力

## ①2月6日（月）～3月3日（金）司書科目「図書館基礎特論」の授業で図書館実習への協力。

実習開始前に座学1コマ担当。実習は、実習生25人が1人10コマ。1コマ当たり1人～4人を受入。内容は図書装備、雑誌受入、排架、蔵書点検、展示コーナー作成等。

2017年度4月19日（水）・26日（水）の実習発表会に参加予定。

## g) 総務的業務・他機関との連携

## (i) 調査等への回答

5月18日（水）：日本図書館協会・図書館調査票提出

11月11日（金）：平成27年度学術情報基盤実態調査—大学図書館編—回答

11月15日（火）：朝日新聞出版社「大学ランキング」調査回答（Web）

## (ii) 規程類整備



- ・「松本大学図書館ゲストカード運用規程」平成28年4月1日から施行。
- ・「松本大学図書館情報機器利用規程」平成28年4月1日から施行。

#### h) 職員研修

##### (i) 学外研修

- 6月10日(金)：2016年度私立大学図書館協会東地区部会総会・館長会  
図書館長出席 於／東京(東京理科大学葛飾キャンパス)
- 8月25日(木)・26(金)：  
第77回私立大学図書館協会総会・研究大会  
図書館長出席 於／東京(上智大学四谷キャンパス)
- 9月12日(月)：長野県図書館協会大学専門図書館部会夏期研修会 於／松本市(松本大学)
- 11月12日(土)：第66回長野県図書館大会分科会 於／塩尻市(レザンホール他)
- 2月28日(火)：平成28年度信州大学附属図書館セミナー「明日から使える! 図書展示実践論」  
於／松本市(信州大学中央図書館)
- 3月28日(火)：長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会 於／長野市(県立長野図書館)

##### i) その他

- 「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力
- 中学校職場体験学習：11月17日(木)・18日(金) 筑摩野中学校2年生2名

## (5) 情報センター運営委員会

情報センターでは、通常業務として「研究・教育の支援〈パソコン教室(ハード・ソフト)整備、コンピュータ関連科目整備、学生向けオリエンテーション実施、学生アシスタント手配、資格管理〉」、「情報機器の維持・管理(教職員パソコン、貸出ノートパソコン等、ネットワーク、サーバー類等)」、および学内外に対して「講習会の実施」等を行っている。

### (a) 委員会開催

平成28年度は、委員長と情報センターの職員や一部の教員とで相談・議論をしながら、委員会を開催することなく様々な事項を決定してきた。本委員会では、毎年同様の通常事業が多く、ほとんどの事業に関してはこのやり方で問題ないが、学部・学科の違い等によって様々な事情や考え方の違いもあるため、定期的に委員会を開催し、議論を深めながら業務を遂行していく必要があると考えられる。

### (b) 長野県が主催するシニア大学への協力

平成28年9月6日(水)・7日(木)

松本大学にてシニア大学の講義・演習を実施した。最近のIT事情についての講演に引き続き、パソコンの使い方、エクセルの使い方、ワードの使い方、写真の加工など、習熟度に応じたパソコン実習を実施した。

### (c) 委員会事業・活動

- ①各種サーバー類の管理運用業務
- ②コンピュータ教室のソフトウェアの管理・更新
- ③学内のコンピュータや通信機器のメンテナンス業務
- ④学内におけるネットワークやコンピュータに関するトラブルなどに関する相談と対応
- ⑤各種検定試験の申し込み受付業務
- ⑥学内で実施する検定試験の試験監督業務

## (6) 国際交流センター運営委員会

### (a) 業務内容

今年度の「短期日本語プログラム」での受け入れは、夏のプログラムで中国の嶺南師範学院から2名、ニューヨーク市立大学ラガーディア校から4名、冬のプログラムで嶺南師範学院から2名、ニューヨーク市立大学ラガーディア校から1名、オーストラリアのニューカッスル大学から2名の、合計11名であった。他方、科目「海外研修」での短期留学での派遣は、湘北短期大学と共催で実施されるオーストラリアのニューカッスル大学短期プログラムに13名（内短大生3名）、米国ノートルダム大学短期プログラムに4名（短大部）、米国メルビル大学1名（学部）、イギリスのリージェンツ大学1名（学部）、嶺南師範学院1名（短大部）、韓国の済州大学1名（短大部）、韓国の東新大学1名（短大部）、カナダのトンプソン・リバーズ大学1名（短大部）の計23名であった。また、交換留学は、派遣が、韓国の東新大学に学部生が2名、受け入れが、嶺南師範学院から5名、東新大学から3名の計8名であった。

今年度の、「短期日本語プログラム」では米国やオーストラリアからの参加者もあり、多様性のあるプログラムを実施することができた。他方、派遣についても、従来の派遣先に加えて、カナダのトンプソン・リバーズ大学（TRU）やイギリスのリージェンツ大学なども加わり、派遣大学は8か所となり、留学先の選択の幅が広がった。

教員交流についても、嶺南師範学院と松商短期大学部の覚書に基づき、本学の教員が嶺南師範学院で集中講義を行った。

### (b) 活動報告

#### 2016年度 国際交流関係事業

- 4月3日 中国嶺南師範学院交換留学生入国支援
- 4月7日 留学生・交換留学生顔合わせ、オリエンテーション、懇親会  
懇親会（留学生4名、交換留学生7名、住吉学長、糸井センター長、山添教授、田中学生課長、国際交流センター2名参加）
- 4月8日 松本市留学生応援ファミリーの会総会（関澤）
- 4月12日 中国貸家 新村常会長へあいさつ（関澤）
- 4月15日 私費留学生授業料減免面接 6名（糸井センター長、大石委員）
- 4月18日 留学生在留カード表記変更申請 コウユウ君（東京入国管理局長野出張所 関澤）
- 4月21日 第1回国際交流センター運営委員会短大部会（糸井センター長、山添教授、関澤、續）
- 4月22日 第1回国際交流センター運営委員会
- 5月9日 人間健康学部 国際交流センター事業紹介（関澤、續）
- 5月11日 総合経営学部 国際交流センター事業紹介（関澤、續）  
国際交流クラブ主催 交換留学生歓迎会（住吉学長、糸井センター長、学生ほか40名 新村貸家）
- 5月12日 総合経営学部 国際交流センター事業紹介（續、関澤）
- 5月13日 メルビルカレッジ留学説明（近藤、清水純也、関澤）
- 5月16日 東京入国管理局甲府出張所（在留期間更新申請1件、資格外活動申請4件）
- 5月26日 松本市留学生応援ファミリーの会 スピーチコンテスト実行委員会（関澤）
- 5月27日 第2回国際交流センター運営委員会
- 6月7日 村瀬理事と海外研修寄付金についての打合せ（糸井センター長、関澤、續）
- 6月13日 東京入国管理局長野出張所（在留期間更新許可申請）
- 6月16日 東京入国管理局甲府出張所（在留期間更新許可願）
- 6月21日 嶺南師範学院教員3名来訪打合せ、懇親会（学長、センター長ほか）
- 6月23日～26日 カナダ トンプソンリバーズ大学訪問（糸井センター長）
- 7月1日 第3回国際交流センター運営委員会
- 7月8日 海外研修プログラム説明

- 7月10日～19日 嶺南師範学院サマーキャンプ参加 (引率：續、デボンテスハユミさん参加)
- 7月12日 東京入国管理局甲府出張所
- 7月14日 駐新潟大韓民国総領事館ビザ申請、東京入国管理局長野出張所更新申請
- 7月15日 授業料減免 新入生面接 (チンミン君) 大石委員対応
- 7月16日 松本市平和スピーチコンテスト 交換留学生6名参加  
莫 宇祥 (バクウショウ) 君 3位、盧 炫辰 (ノヒョンジン) 君 審査員特別賞
- 7月23日 交換留学生対象就職説明会 (新村貸家)
- 7月25日～8月8日 サマープログラム (嶺南師範学院2名、ニューヨーク市立大学4名計6名参加)
- 7月29日 第3回国際交流センター運営委員会
- 8月16日～30日 ニューカッスル大学研修 13人参加 (引率：續、糸井、上條)
- 8月25日～9月24日 東新大学短期語学研修
- 8月29日～9月8日 ノートルダム大学研修 4人参加 (引率：関澤)
- 9月11日～9月23日 嶺南師範学院講義 (糸井)
- 9月30日 第4回国際交流センター運営委員会
- 10月12日 日中友好協会60周年記念祝賀会 (長野ホテル犀北館 糸井)
- 10月22日 ACCIグローバルセミナー (日本教育会館 糸井・續)
- 10月27日 交換留学生就職面接引率 バクウショウ君 (東京 天洋汽船)
- 10月28日 第5回短大国際交流センター運営委員会
- 11月2日 JCSOS危機管理セミナー (早稲田大学 関澤)
- 11月7日 カナダ トンプソンリバーズ大学来訪 (2名)
- 11月11日 松本東ロータリークラブ日本語スピーチコンテスト 4人出場  
アンレイゼンさん2位、バクウショウ君審査員特別賞
- 11月17日 交換留学生懇談会  
(第4会議室 住吉学長、糸井センター長、関澤、續、交換留学生7名全員)
- 11月18日 ユタバレー大学来訪 (2名 関澤・續)
- 11月25日 第6回国際交流センター運営委員会
- 12月2日 私立大学協会国際交流シンポジウム (アルカディア市ヶ谷 糸井・續)
- 12月9日 JENESYSオーストラリア大学生25名来訪 本学学生21名 教職員3名 計24名参加
- 12月11日 フィールドトリップ  
(京都 交換留学生7名、留学生6名、学生2名、国際交流センター2名 計17名参加)
- 12月17日 松本ワイズメンズクラブ第18回私費留学生小論文コンテスト授賞式  
交換留学生 ノ ヒョンジン君・リョウ ショウエンさん2名佳作  
(深志神社梅風閣 関澤)
- 12月20日 平成29年度交換留学生8名在留資格申請 (東京入国管理局 関澤)
- 1月17日 韓国済州大学来訪4名
- 1月20日 第7回国際交流センター運営委員会
- 1月20日 村瀬常務理事寄付金 海外奨学金授与式・懇談会  
受賞者：清水純也君、唐澤玲帆さん2名  
懇談会：上田高校生3名、村瀬理事、糸井センター長、関澤、續、受賞者2名、近藤君、リョウ ショウエンさん 計11名
- 1月24日 交換留学生・国際交流クラブ卒業生送別会  
交換留学生7名、国際交流クラブ15名、中村純子准教授、田中学生課長、学生課田巻・関、国際交流センター関澤・續 計28名参加
- 2月8日～2月22日 2107ウィンタープログラム 嶺南師範学院2名 (男女)、ニューヨーク市立大学1名 (男)、ニューカッスル大学2名 (男女) 計5名参加
- 2月23日 学友会 韓国東新大学訪問団オリエンテーション

- 2月28日 交換留学生アパート レオパレスグローリーⅡ 3軒 引越作業  
 3月16日 メリビル大学短期研修参加 清水純也君の村瀬理事への報告会  
 3月27日 東新大学 柳副教授、チョウ国際交流センター職員来訪

## (7) 地域健康支援ステーション運営委員会

本ステーションは、文部科学省平成21年度大学教育推進GP事業の採択を受け、本学人間健康学部健康栄養学科内に設置され、平成22年4月から管理栄養士を専任スタッフとして配置し、メニュー開発や栄養指導など本格的に活動を開始した。GP事業終了後には、スポーツ健康学科含め人間健康学部全体の教育や地域貢献との関わりを保ちながら独自の活動を推進してきた。平成25年度には同省COC事業の採択を受け、健康運動指導士を専任スタッフとして配置し、地域からの要望に応じ、運動指導や体力測定などにも活動の幅を広げている。活動に参加する学生においては、地域における実践指導の体験等を通して栄養や運動に関する専門的な学習を深める場となっており、学生の育成と地域貢献を理念とした健康づくりのため、栄養と運動の両面からさまざまな活動を行っている。

### (a) 組織と会議

- ①組織：運営委員長1名（健康栄養学科長） 委員2名（スポーツ健康学科長、総合経営学科） 事務局5名  
 ①運営委員会：1回 5月9日

### (b) 管理栄養士による実践的活動

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ（管理栄養士）が実施した活動

- ①4月6～8日 「ハイリスク学生個別栄養指導」  
 （依頼元：松本大学健康安全センター、対象者13名、指導教員：廣田直子）  
 ②4月14日 「保健指導員会総会講演会『“食する力”を育もう』講師」  
 （依頼元：辰野町、対象者120名、指導教員：廣田直子）  
 ③5月23日 「松本広域給食協議会総会講演会『学生とともに地域の食を育む』講師」  
 （依頼元：松本広域給食協議会、対象者30名、指導教員：廣田直子）  
 ④6月21日 「岡谷市食育推進研修会講演会『地域とともに考える！食する力を育もう』講師」  
 （依頼元：岡谷市、対象者100名、指導教員：廣田直子）  
 ⑤5月24日 「吉田地区健康教室での栄養指導」  
 （依頼元：塩尻市吉田公民館長、対象者33名、指導教員：廣田直子） 運動教室のメニューとして実施  
 ⑥6月16日 「ふれあいセンター洗馬介護予防運動教室での栄養指導」  
 （依頼元：塩尻市社協ふれあいセンター洗馬、対象者16名、指導教員：廣田直子） 運動教室のメニューとして実施  
 ⑦7月26日 「本山地区介護予防運動教室での栄養指導」  
 （依頼元：塩尻市社協本山分会、対象者8名、指導教員：廣田直子） 運動教室の中のメニューとして実施  
 ⑧7月22日、8月23日 「林業作業士初任者研修の講師」  
 （依頼元：(財)長野県林業労働財団、対象者71名、指導教員：廣田直子、参加学生5名）  
 ⑨10月24日、12月1日、12月8日 「健康経営推進プログラム栄養講座」  
 （依頼元：一般財団法人長野経済研究所、対象者延べ10名、指導教員：廣田直子）  
 ⑩11月17日 「体重減量を目的とした栄養教室」  
 （依頼元：昭和電工セラミックス株式会社塩尻工場、対象者25名、指導教員：廣田直子）  
 ⑪1月14日 食育イベント「だし汁の試飲体験・だしの種類あてクイズ」  
 （依頼元：諏訪保健福祉事務所、対象者50名、指導教員：廣田直子）  
 ⑫2月7日 「床尾地区健康教室での栄養指導」



(依頼元：塩尻市社協床尾分会、対象者10名、指導教員：廣田直子) 運動教室の中のメニューとして実施

⑬2月19日 「健康講座『食事と栄養』」

(依頼元：シルバーカフェ、対象者32名、指導教員：廣田直子)

(c) 健康運動指導士による実践的活動

地域からの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(健康運動指導士)が実施した活動

1. 運動実践指導

①4月12日・26日、5月10日・24日、6月14日・28日、7月12日・26日、8月23日、9月13日・27日、10月11日・25日、11月8日・22日、12月13日、1月10日・24日、2月14日・28日、3月14日

「介護予防運動教室の講師」

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会本山分会、全21回、対象者延べ256名、指導教員：根本賢一)

②4月12日・26日、5月10日・17日・24日・31日、6月7日・14日・21日・28日、7月5日・12日・19日・26日、8月2日・9日・16日・23日・30日、9月6日・13日、10月4日・11日・18日・25日、11月1日・8日・15日・22日・29日、12月6日・13日・20日、1月10日・17日・24日・31日、2月7日・14日・21日、3月7日・14日・21日

「健康教室『のびのび健康時間』の講師」

(依頼元：塩尻市吉田公民館、全39回、対象者延べ1,371名、指導教員：根本賢一、参加学生2名)

③4月21日、5月19日、6月7日・16日、7月5日・21日、8月2日・18日、9月6日、10月4日・20日、11月1日・17日、12月6日・15日、1月19日、2月7日・16日、3月7日・16日

「介護予防運動教室の講師」

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会床尾分会、全20回、対象者延べ202名、指導教員：根本賢一、参加学生2名)

④5月18日、6月1日・15日、7月6日・20日、8月3日・31日、9月14日・28日、10月12日・26日、11月9日・30日、12月14日、1月18日、2月1日、3月15日

「介護予防講座『転ばぬジェントルマンとレディーの会』の講師」

(依頼元：朝日村社会福祉協議会、全17回、対象者延べ250名、指導教員：根本賢一)

⑤5月19日、6月16日、7月14日、8月18日、9月15日、10月13日、11月17日、12月15日、2月16日、3月16日

「ふれあいセンター洗馬『いきいき講座』の講師」

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会、全10回、対象者延べ137名、指導教員：根本賢一、参加学生4名)

⑥5月26日、8月10日、11月24日 「介護予防講座の講師」

(依頼元：朝日村原新田地区、対象者延べ67名、指導教員：根本賢一)

⑦5月14日・21日、6月11日 「速歩教室の講師」

(依頼元：宮田村公民館、対象者110名、指導教員：根本賢一)

⑧5月29日 「速歩教室の講師」

依頼元：塩尻市峰原地区、対象者32名、指導教員：根本賢一)

⑨6月27日、9月5日、12月5日 「介護予防講座の講師」

(依頼元：朝日村アイリス古見地区、対象者延べ17名、指導教員：根本賢一)

⑩6月16日、7月21日、10月13日、11月8日 「社員の健康づくり運動の講師」

(依頼元：昭和電工セラミックス(株)塩尻工場、対象者延べ67名、指導教員：根本賢一)

⑪6月21日 「体力アップ速歩講習会の講師」

(依頼元：塩尻ロマン大学大学院、対象者10名、指導教員：田邊愛子)

⑫6月23日、7月3日 「速歩教室の講師」

(依頼元：塩尻市広丘ヘルスアップ委員会、対象者33名、指導教員：根本賢一)

⑬8月9日 「ヘルスメイトステップアップ研修会『健康と運動について』講師」

(依頼元：松本保健福祉事務所、対象者29名、指導教員：根本賢一)

- ⑭9月17日 「ロコトレ指導の実践 研修会の講師」  
(依頼元:長野県栄養士会研究教育事業部、対象者17名、指導教員:廣田直子)
- ⑮10月22日 「下洗馬地域サロン高齢者向け健康運動講座の講師」  
(依頼元:朝日村、対象者16名、指導教員:等々力賢治)
- ⑯10月24日、12月1日、12月8日 「健康経営推進プログラム運動講座」  
(依頼元:一般財団法人長野経済研究所、対象者延べ10名、指導教員:廣田直子)
- ⑰10月27日 「塩尻市民生児童委員研修会分科会講師」  
(依頼元:塩尻市民生児童委員協議会、対象者32名、指導教員:根本賢一)

## 2. レクリエーション

- ①9月7日、1月11日  
「精神障がい者デイケアたんぽぽ『レクリエーションと軽運動』の講師」  
(依頼元:朝日村健康センターデイケアたんぽぽ、対象者13名、指導教員:根本賢一・犬飼己紀子、参加学生1名)

### d) 学生との連携による実践的活動

地域や関係機関などからの依頼を受けて、本ステーションの管理栄養士、健康運動指導士が専門的サポートをし、学科教員の指導のもと健康栄養学科とスポーツ健康学科の学生と連携して実施した活動。

#### 1. 地域住民組織の健康づくり研修会受託

- ①6月24日、2月8日 「南相木村保健補導員研修会ほか『体力測定と栄養講座』」  
(依頼元:南相木村、対象者のべ23名、指導教員:廣田直子・中島節子、参加学生延べ10名)
- ②8月30日 「山形村健康づくり推進員研修会『体力測定と栄養講座』」  
(依頼元:山形村健康づくり推進員会、対象者16名、指導教員:廣田直子・中島節子、参加学生5名)
- ③2月13日 「川上村保健補導員研修会『体力測定と栄養講座』」  
(依頼元:川上村、対象者16名、指導教員:廣田直子・中島節子、参加学生5名)
- ④8月8日・31日 「登山同好会会員の体力測定」  
(依頼元:穂高登高会ワタスゲ、対象者21名、指導教員:中島節子、参加学生延べ10名)
- ⑤11月27日 「新村ニュースポーツ大会における体力測定ブース担当」  
(依頼元:新村公民館、対象者17名、指導教員:中島節子、参加学生13名)

#### 2. 栄養健康教育

- ①「食育パネル展 ブース担当」  
(依頼元:松本市、指導教員:廣田直子、参加学生延べ10名)
  - a) 5月30日 パネル展示開始
  - b) 6月5日 食育パネル展、おにぎりチャレンジ隊ブース担当
- ②11月3日 「松本山雅ホームタウンイベントブース担当」  
(依頼元:松本市、指導教員:廣田直子、参加学生8名)
- ③12月4日 「食育SATシステムによる食事診断ブース担当」  
(依頼元:岡谷市、指導教員:廣田直子、参加学生5名)

#### 3. メニュー開発、メニュー提案

- ①「松本山雅スタジアム『食』第7期メニュー開発」  
(依頼元:株式会社 松本山雅、指導教員:廣田直子)
  - a) 5月15日「アルウィン現地視察」(参加学生11名)
  - b) 5月19日「スタめし開発勉強会」(参加学生11名)

- c) 8月8日～随時「業者との打合せ」(3アイデア3業者、対象学生4名)
- d) 10月21日「完成発表会」(参加学生4名)
- e) 10月23日「販売と補助」(3商品販売、参加学生4名)
- ②「世界健康首都会議 健康弁当提案プロジェクト」  
(依頼元:松本市ほか、指導教員:廣田直子・成瀬祐子、参加学生延べ18名)
  - a) 8月18日「プロジェクト合同説明会・研修会」
  - b) 9月6日・14日・30日、10月14日「学内検討会」
  - c) 10月26日「商品プレス発表会」(1品商品化)
  - e) 11月11日「販売プレゼンテーション」
- ③「イタリアンレストランピッツェリア メニュー提案」  
(依頼元:株式会社レオパレス21、指導教員:廣田直子、参加学生延べ18名)
  - a) 6月24日 説明会
  - b) 7月19日「第1回学生提案プレゼン」
  - c) 8月23日「第2回学生提案プレゼン」
  - d) 9月27日「商品化メニュー試食検討会」
  - e) 10月24日「完成披露会」(7品商品化)
  - f) 12月26日「テレビ取材」(参加学生2名)
  - g) 2月12日「大学案内取材」(参加学生8名)
- ④「社員食堂ヘルシーメニュー提案」  
(依頼元:㈱サイバックコーポレーション、指導教員:廣田直子、参加学生延べ13名)
  - a) 6月14日「ヘルシーメニュー提供①」(参加学生3名)
  - b) 9月20日「ヘルシーメニュー提供②」(参加学生4名)
  - c) 11月8日「ヘルシーメニュー提供③」(参加学生3名)
  - d) 11月11日「栄養セミナー」
- e) サポート教員
  - ①6月20日、8月5日(2回)、11月28日「地域課題研究B(運動・スポーツイベント・林業研修会の現場および事前事後学習)」  
(依頼元:松本大学教務委員会、対象者:地域課題研究B履修生8名)
  - ②10月27日 「セルフヘルスケア」の講義 「健康の3本柱の栄養について」  
(依頼元:松本大学人間健康学部スポーツ健康学科 中島節子)
  - ③11月4日 「大学入門」の講義 「行政栄養士の活動の実際について」  
(依頼元:松本大学人間健康学部健康栄養学科 矢内和博)
  - ④11月22日 「健康マネジメント論」の講義 「食について」  
(依頼元:松本大学人間健康学部スポーツ健康学科 中島節子)
  - ⑤11月25日 「臨床栄養学実習Ⅱ」の講義 「臨床栄養学実習Ⅱにおけるロコモ度テストの演習」  
(依頼元:松本大学人間健康学部健康栄養学科 藤岡由美子)
- f) その他専門活動
  - ①「一日限りのレストラン」運営支援  
(健康栄養学科主催の事業、指導教員:成瀬祐子)
    - i) 4月13日・20日・27日、5月8日・16日、6月6日・9日・20日、8月9日「打合せ会・試作等」
    - ii) 8月25日「学内試食会・報道発表」(40食提供)
    - iii) 9月24日「一日限りのレストラン 実施」(40食×2回提供)
  - ②7月5日、12月14日、2月24日 「専門職訪問サービスモデル構築検討委員会打合せ出席」  
(依頼元:長野経済研究所、指導教員:廣田直子)

- ③「ポリ袋で料理を作ろうコーナー」実施  
 (参加イベント:ものづくりフェア、指導教員:廣田直子)
  - a) 7月7日「災害非常時の食事支援について勉強会」(参加学生6名)
  - b) 7月16日「ポリ袋で料理を作ろうコーナー開設」(対象27組、参加学生6名)
- ④11月16日 「第22回市民参加料理コンクール審査会」(料理コンクール審査)  
 (依頼元:料理コンクール実行委員会、指導教員:石原三妃、参加学生11名)
- ⑤2月23日・24日・27日、3月1日・2日・6日  
 「『咀嚼と認知機能』の研究協力」(東京医療保健大学他実施)  
 (依頼元:東京保健医療大学、指導教員:廣田直子、参加学生3名)
- ⑥「一日限りのレストランat東急REIホテルコラボレーションイベント」  
 (依頼元:東急REIホテル、指導教員:成瀬裕子、参加学生12名)
  - a) 3月6日「レストランサービス研修会」
  - b) 3月20日「レストランイベント接客・サービス支援」(ランチ60食、ディナー60食)

g) 広報活動

- ① ホームページブログ記事更新(ステーションのページ掲載)
- ② 「蒼穹」第123号・124号・125号・126号原稿執筆
- ③ 2月17日 健康づくり研究討論会「活動事例発表」(演題「学生が提案するヘルシーメニュー～3つの星レストランの取り組み～」)  
 (依頼元:長野県健康増進課、指導教員:廣田直子)
- ④ 3月24日 在学生オリエンテーション「ステーションの活動紹介」(新2・3・4年生)

h) 卒後フォローアップ事業

- ① 2月21日 COC+講演会・卒業生フォローアップ研修会「食を育むつどい」(事例発表と講演会)  
 講演会「『食べ物情報』ウソ・ホント」  
 講師 群馬大学名誉教授 高橋久仁子氏  
 会場:松本大学5号館  
 (松本保健福祉事務所、松本地域食を育む連絡会議、松本大学健康栄養学科と共催)

(8) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

a) 考房『ゆめ』利用促進事業

- (i) 考房『ゆめ』新入生へのオリエンテーション  
 4月7日(木):ウェルカムパーティーにて 全プロジェクト
- (ii) 講義内での『ゆめ』およびプロジェクトの紹介  
 4月19日(火)・26日(火) 「基礎ゼミナール」 総合経営学部基礎ゼミナール担当教員  
『ゆめ』活動紹介  
 4月25日(月) 「地域社会と大学教育」 住吉 廣行学長 『ゆめ』活動紹介  
 6月3日(金) 「大学入門」 木藤 伸夫教授 『ゆめ』活動紹介

- (iii) 学生企画による「ゆめカフェ」開催  
 4月8日(金)、18日(月)～20日(水)、26日(火)、28日(木)

(IV) 平成28年度地域貢献活動利用実績

年間受付件数	年間参加件数	年間延参加人数
66件	26件	62人

※考房『ゆめ』で把握している数字。実数とは異なる。



## b) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業

## (i) 学生の自主企画による活動

地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト (7プロジェクト…具体的内容は後述)  
松本大学支援によるプロジェクト (1プロジェクト…あるぶすタウン)

## (ii) 地域からの依頼事業への参加…全26件 ※詳細は学生版アニュアルレポートに記載

個人参加:23件、延べ56人

学生プロジェクトによる参加:5件

※新村地区オープン大会、新村地区市民運動会へはプロジェクト・個人の両方で参加

## (iii) 地域とのパートナーシップ事業 (2プロジェクト)

4月～:すずき川花火大会プロジェクト

花火大会とのコラボ企画立案と運用、広報活動への参画、事務局と一緒に花火大会を運営  
(学生・すずき川花火大会事務局)

4月～:松本BBS会

少年少女の成長の手助けと非行のない地域社会を目指す (学生・社会人・保護司会)

## c) 考房『ゆめ』自主事業

## (i) 平成28年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

【前期審査会:平成27年度実施】 応募プロジェクト:5 認定プロジェクト:5

## ①松本大学キッズスポーツスクール (39,000円)

子どもたちに運動の楽しさを知ってもらい、体を動かすきっかけ作りになるよう、月1回スポーツスクールを開催

## ②松本大学こどもあそび隊 (20,000円)

親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として2ヵ月に1回こども広場を開催

## ③Sign (40,000円)

様々な障害を持っている方と関わり、学んだことを地域に伝えることで障がいへの理解を広める

## ④◎いただきます!! (30,000円)

レシピ作成や料理教室の実施を通し、食品ロスやアレルギーへの理解を広める

## ⑤ええじゃん栄村 (49,000円)

栄村復興支援 (ぶらり農園と協働し、栄村特産品を使った商品開発を行う)

【後期審査会:9月20日(火)実施】 応募プロジェクト:2 認定プロジェクト:2

## ①「ゆめ」編集 (95,000円)

新入生に大学や地域の情報を伝える「Volere!!」の編集・発行

## ②キッズホッケー (67,000円)

ゲームを通じて仲間・道具・ルールの大切さを学んでもらえるよう、小学生を対象に週1回ホッケー教室を開催

【報告会開催:3月6日(月)実施】

## ①松本大学キッズスポーツスクール (申請額39,000円、決算額13,714円)

・子どもたちに運動の楽しさを知ってもらい、体を動かすきっかけ作りとするためのキッズスポーツスクールを計10回開催

・新村地区イベントへ参加 (新村地区オープン大会エントリー、新村地区運動会運営補助)

## ②松本大学こどもあそび隊 (申請額20,000円、決算額9,857円)

・親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として年4回こども広場を開催、未就学児向けに工作・歌・読み聞かせなどを実施

- ・新村地区の子育てサークル「ひよこの会」との意見交換
- ③Sign (申請額40,000円、決算額3,363円)
  - ・聴覚障がい者とのコミュニケーションの手段として、手話勉強会を学内にて年3回実施、島内手話教室へも参加
  - ・聴覚障がい者に対して理解してもらうきっかけ作りとして、島内地区文化祭にて手話を使った日常会話の事例発表を実施
  - ・聴覚障害のあるお年寄りのデイサービスりんどうの会・れんげ草との交流
  - ・障害を持つ人が構成する楽団ケ・セラ定期演奏会での運営補助
- ④◎いただきます!! (申請額30,000円、決算額29,909円)
  - ・季節ごとに余りやすい食材を使用したレシピを全25品考案し、レシピ集として新村地区へ配布
  - ・朝日村食生活改善協議会に協力いただき、5月に考案したレシピの料理教室を実施
  - ・松本市環境政策課に協力いただき、6月に食品ロス勉強会を実施
  - ・梓乃森祭にて野菜を皮ごと使った豚汁の販売
  - ・一般財団法人学生サポートセンターの平成28年度学生ボランティア支援に採用
- ⑤ええじゃん栄村 (申請額49,000円、決算額31,286円)
  - ・昨年度より取り組んだイタドリ (山菜) のレシピ集作成、配布
  - ・8月に栄村訪問、アスマトハウス・公民館・道の駅・震災復興祈念館の視察およびレシピ集配布
  - ・梓乃森祭にて、栄村産トマト使用のトマトジュースから考案した和風トマトスープの販売
  - ・農林水産省主催「食と農林漁業大学生アワード2016」最終選考グループとして活動内容発表
- ⑥「ゆめ」編集 (申請額95,000円、決算額89,000円)
  - ・昨年度作成した情報誌「Vorele!! Vol.5」を4月に新入生へ配布
  - ・「Vorele!! Vol.6」製作のため企画構成、取材、学内アンケート等を実施
  - ・新村地区のイベント取材として11月に「新の里ウォークラリー」へ参加
  - ・「Vorele!! Vol.6」1,700部発行、平成29年度新入生へ向けて配布準備
- ⑦キッズホッケー (申請額67,000円、決算額34,609円)
  - ・5月～9月、小学生を対象に新村児童センターにてペットボトルホッケー教室を週1回開催、10月以降はフロアホッケー教室に内容を変更し、週1回開催
  - ・第7回松本大学地域貢献大賞選考会にて、ものぐさ太郎賞を受賞

(ii) 平成29年度前期地域づくり学生チャレンジ奨励制度開催

募集期間：2月1日(月)～3月14日(月)

審査会開催：3月15日(水)

応募プロジェクト：4 / 認定プロジェクト：4

- ①こどもあそび隊 (30,000円)
- ②Sign (32,000円)
- ③ええじゃん栄村 (20,000円)
- ④◎いただきます!! (30,000円)

(iii) 第50回梓乃森祭

開催日：10月15日(土)・16日(日)

参加団体：17団体(学生プロジェクト：10団体、地域：7団体)

- ①ゆめひろば 場所：松本大学5号館

- ・展示コーナー：学生プロジェクト活動紹介、すすき川花火大会写真・絵画コンテスト入賞作品展示会、松本市環境政策課による食品ロスパネル展示、松本市消費者の会 波田地区による再生食器ができるまでの展示および不用食器の無料配布（学生3名サポート）、長野県社会福祉協議会による第40回信州発ボランティア・地域活動フォーラム告知展示（学生6名サポート）
- ・販売コーナー：第2コムハウス、新村地区マーブルの会、森のこびと
- ・体験コーナー：Signによる点字・要約筆記体験、上高地線応援隊によるプラレール体験（学生1名サポート）
- ・無料湯茶おやすみ処：新村地区マーブルの会（学生1名サポート）

#### ②模擬店

- ・◎いただきます!!による野菜を丸ごと使用した豚汁の販売
- ・ええじゃん栄村による栄村産トマト使用のトマトジュースから考案した和風トマトスープの販売

#### (IV) COCフォーラム開催 平成28年度地域フォーラム

開催日：12月3日(土) 13:30~16:30 場所：松本大学512教室(5号館1階)

テーマ：私たち学生は地域のために何をすべきか

内容：①ワークショップ「私たち学生は地域のために何をすべきか」

コーディネーター：廣瀬豊『ゆめ』運営委員長

ファシリテーター：OG・OB 6名、松本市地域づくりインターン4名

#### ②教職員意見交流会

アドバイザー：白戸洋教授

参加校：6大学（共愛学園前橋国際大学、田園調布学園大学、西南女学院大学、長野大学、諏訪東京理科大学、松本大学）、2短期大学（松本短期大学、松本大学松商短期大学部）

参加者：学生36名（内、松本大学・松商短期大学部生18名）、教職員16名、OG・OB 6名、松本市地域づくりインターン4名 計62名

企画・運営：廣瀬豊運営委員長、成瀬祐子運営委員、白戸洋教授、向井健専任講師、地域づくり考房『ゆめ』職員

当日学生スタッフ：牛丸みずき、小島なつみ、二村有紀、塚田慎吾、百澤琴乃

打ち合わせ：9月~12月

#### d) 学生と地域の方でつくる松本大学共催イベントへのサポート事業

##### (i) あるぷすタウン

開催日：平成29年2月18日(土)・19日(日) 10:00~16:00

内容：子どもが楽しみながら街を知る、仕事を知る、「子どもだけのまち」

参加者：小学校4年生74名、小学校5年生75名、小学校6年生70名、中学校1年生9名、中学校2年生2名(計230名・2日間延べ445名)

企画・運営スタッフ：あるぷすタウン実行委員会(学生23名、地域の方7名)

サポート：本校学生当日ボランティア73名・延べ107名、高校生当日ボランティア36名・延べ58名、他校学生当日ボランティア5名・延べ9名、社会人当日ボランティア3名・延べ6名、企業・団体専門家38ブース134名・延べ193名

#### e) センター組織の整備充実

##### (i) 学生の活動への支援体制の充実

学生スタッフ等の配置

内容：ゆめ学生スタッフ：6名(相談員・情報収集・発信・イベント企画・運営・実施)

(ii) 各種会議開催

- ・運営委員会：7回
- ・職員会議：4月～3月、週1回
- ・学生スタッフ会議：年15回（4月～3月：月1～2回）
- ・学生スタッフ・リーダー会議：年5回

(iii) 研修・交流

- ・応急・救急対応研修 前編 6月27日(月)、6月30日(木)  
後編 7月7日(木)、7月11日(月)

参加者：学生延べ121名

内容：熱中症対策、AED使用の心得など応急・救急対応について

講師：健康安全センター 脇本澄子保健師

- ・考房『ゆめ』夏合宿兼中間活動報告会 9月5日(月)・6日(火)

参加者：学生48名、外部講師4名、教職員5名

内容：オリエンテーション、レクリエーション、交流会、各プロジェクト中間活動報告会、  
チームビルディング（テーマ：仲間と一つの目標に向かって進んでいける組織づくり）

講師：NPO法人 信州やがいたいけん楽校ぶらす 降幡光幸氏、朝倉茜氏、上蘭美千代氏、畠山  
木芸舎 畠山桂氏、廣瀬豊『ゆめ』運営委員長、中澤朋代『ゆめ』運営委員）

企画・運営：地域づくり考房『ゆめ』教職員、学生スタッフ、合宿企画メンバー

- ・考房『ゆめ』平成28年度活動報告会・交流会：平成29年3月6日(月)

参加者：67名（学生48名、一般12名、教職員7名）

内容：昼食交流会、学生プロジェクト28年度活動報告（ポスターセッション形式）

ワークショップ（テーマ：地域活動やボランティアの参加者増加・活動促進について）

講師：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター事務長 齊藤新氏

(IV) 視察・研修等受け入れ

大学：6件

高松大学 総務部企画課より1名（6月22日）

日本文理大学 進路開発センターより1名（8月26日）

沖縄大学 経営企画室・地域研究所より3名（9月16日）

四日市大学 経済学部より1名（11月22日）

聖学院大学 副学長他3名（平成29年2月17日）

新潟大学 教育学生支援機構より1名（平成29年3月23日）

(v) 視察

- ・バリューボックス（上田市）

日程：6月25日（土） 参加者：学生3名、教職員2名、一般3名

- ・栄村道の駅「こらっせ」、ぶらり農園

日程：8月6日（日） 参加者：学生11名、教職員2名

- ・全国こどものまち主催者サミット（相模女子大学）

日程：8月13日（土）・14日（日） 参加者：学生7名、教職員3名

- ・b-lab（相模女子大学）

日程：9月30日（金） 参加者：職員1名

- ・カフェあげつち

日程：10月28日（金） 参加者：職員1名

- ・もったいないを見直そう～食品ロス削減シンポジウム～（東京都千代田区）



日程：10月28日（金） 参加者：職員1名

(vi) 広報関係

- ・ウェブサイト（ゆめHP）、学生ブログによる情報発信
- ・発行物
  - 平成28年度学生プロジェクト紹介冊子、ゆめ通信（第35号～第37号）、平成28年度中間活動報告、平成28年度活動報告、Volere!!vol.6（学生プロジェクト『ゆめ』編集）
- ・学内発行物
  - 蒼穹（第123号～第126号）
- ・テレビ、ラジオ
  - テレビ松本：平成29年2月20日（月）あるぷすタウン
  - FMまつもと：8月16日（火）すすき川花火大会告知
  - ラジオCM　すすき川花火大会プロジェクト
- ・新聞
  - 信濃毎日新聞：平成28年3月25日（金）◎いただきます！！
  - 5月25日（水）松本BBS会
  - 8月5日（金）すすき川花火大会プロジェクト
  - 9月2日（金）ええじゃん栄村
  - 11月5日（土）ええじゃん栄村
  - 12月18日（日）ええじゃん栄村
  - 平成29年2月19日（日）あるぷすタウン
  - 中日新聞：平成28年3月25日（金）◎いただきます！！
  - 平成29年3月3日（金）あるぷすタウン
  - Syun!8月号　こどもあそび隊、◎いただきます！！レシピ掲載
  - Syun!9月号　ええじゃん栄村
  - Syun!10月号　キッズホッケー
  - Syun!12月号　あるぷすタウン
  - Syun!平成29年1月号　キッズスポーツスクール
  - Syun!平成29年3月号　あるぷすタウン
  - 市民タイムス：3月29日（火）◎いただきます！！
  - 5月22日（日）◎いただきます！！
  - 5月26日（木）松本BBS会
  - 8月11日（木）◎いただきます！！
  - 8月26日（金）キッズホッケー
  - 12月4日（日）平成28年度地域フォーラム
  - 平成29年2月12日（日）あるぷすタウン
  - 平成29年3月11日（土）活動報告会
  - タウン情報：5月10日（火）キッズスポーツスクール
  - 7月7日（木）新村地区オープン大会
  - 8月18日（木）◎いただきます！！
  - 平成29年1月31日（火）キッズスポーツスクール
  - 平成29年3月11日（土）活動報告会
- ・雑誌・広報誌掲載
  - 月刊イクジィ：キッズスポーツスクール（4月～平成29年3月）
  - ：こどもあそび隊（4月～平成29年2月）
  - ：キッズホッケー（12月）

広報まつもと：8月号◎いただきます!!レシピ掲載  
 福祉ひろばだより 新村地区：9月1日(木)◎いただきます!!ふれあい健康教室スイーツ提供  
 まつもと保護だより(松本地区保護司会 発行)：11月30日(水)松本BBS会

## (9) 学生委員会

### a) 委員会開催

#### (i) 全学学生委員会

- 4月28日 学部学友会の一本化、第50回大学祭、体育大会保健師派遣等
- 5月6日 学生処分について
- 5月26日 スケート部設立、クラブ指導者等について等
- 6月7日 学生処分について
- 6月30日 硬式野球部新コーチ、経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度等
- 7月28日 学長賞、同窓会クラブ補助金、学外指導者について等
- 8月19日 学生処分について
- 9月12日 災害被災学生支援、スポーツ特待生、学部学友会の一本化等
- 11月1日 大学祭の反省、クラブおよびサークルの部長人選について等
- 12月6日 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度、東新大学公式訪問団等
- 3月1日 スポーツ特待生、クラブおよびクラブ関係に関する内規の変更について等
- 3月8日 日本学生支援機構奨学金適格認定について等

#### (ii) 学生委員会短大部会

- 4月21日 学友会局員決めについて、夏季体育大会について等
- 6月30日 全国私立短期大学体育大会、湘北短期大学との交流、リーダー研修会等
- 9月15日 4学期制導入に向けて、学友会会則の変更、長野県私立短期大学体育大会等
- 10月25日 学友会臨時学生大会、秋季体育大会について、平成29年度の予定等
- 1月10日 ウェルカムフェアスタッフ募集、卒業・進級オリエンテーション等

#### (iii) 大学祭実行委員会

- 5月11日 テーマ、開催内容について等
- 10月5日 進捗状況確認、模擬店、レンタル品のルールについて等
- 11月30日 反省事項について等

### b) 事業・活動

- 4月1日 学生教育研究災害保険申込み(総合経営学部、短期大学部新入生)
- 4月7日 三学部合同ウェルカムパーティー、短期大学部学友会学生大会(1年生)
- 4月11日 日本学生支援機構定期採用者向け説明会(～15日)
- 4月14日 トレーニングルーム講習会(19日・27日)
- 4月18日 日本学生支援機構奨学金予約採用者スカラネット入力説明会(～22日)
- 4月23日 人間健康学部フレッシュマンフェスティバル
- 4月25日 人間健康学部学友会学生大会
- 4月27日 総合経営学部学友会学生大会
- 4月27日 熊本地震義捐金活動開始(～10月20日まで) 300,723円
- 5月3日 松本子どもまつり
- 5月6日 日本学生支援機構奨学金定期採用者スカラネット入力説明会(～12日)
- 5月13日 日本学生支援機構奨学金定期採用者面接(～19日)
- 5月25日 短期大学部交通安全講話(1年生)
- 5月28日 総合経営学部1フェス
- 6月13日 クラブ協議会・サークル連合総会

- 6月13日 日本学生支援機構奨学金予約採用者返還説明会(～16日)
- 6月23日 年金セミナー(全学生対象)
- 6月27日 日本学生支援機構奨学金定期採用者返還説明会(～30日)
- 7月3日 短期大学部夏季体育大会
- 7月6日 大学院日本学生支援機構奨学金説明会
- 7月15日 花火大会
- 7月23日 総合経営学部夏フェス
- 8月8日 学友会新聞 「Page1」Vol.7(通巻110号)発行
- 8月8日 第51回全国私立短期大学体育大会(～11日)
- 8月19日 第15期就学困難な学生への支援制度最終審査
- 8月23日 クラブ協議会・サークル連合総会
- 8月23日 湘北短期大学リーダーズキャンプ(～24日)
- 8月24日 二学部合同真夏のSOCCERフェスティバル
- 9月9日 第22回長野県私立短期大学体育大会
- 9月15日 短期大学部リーダー研修会(～16日)
- 9月26日 健康栄養学科1年生薬物・防犯講習会
- 10月13日 大学祭準備、前夜祭
- 10月14日 第50回大学祭「梓乃森祭」(～15日)
- 10月16日 大学祭後片付け
- 10月25日 総合経営学部1年生薬物・防犯講習会
- 10月26日 スポーツ健康学科1・2年生薬物・防犯講習会
- 10月28日 ハロウィンパーティー
- 11月2日 大学院日本学生支援機構奨学金説明会
- 11月8日 短大部秋季体育大会
- 11月8日 総合経営学部・短期大学部学友会臨時学生大会
- 11月11日 人間健康学部学友会臨時学生大会
- 11月16日 人間健康学部体育大会
- 11月22日 日本学生支援機構臨時採用者説明会
- 12月5日 日本学生支援機構奨学金返還説明会(～9日)
- 12月16日 クリスマスパーティー
- 12月20日 学友会新聞 「Page1」Vol.8(通巻111号)発行
- 12月21日 短期大学部学友会リーダーズキャンプ
- 1月6日 日本学生支援機構奨学金継続説明会(～16日)
- 1月11日 総合経営学部SKB48バスケットボール大会
- 1月31日 短期大学部学生大会(2年生)
- 2月1日 短期大学部学生大会(1年生)
- 2月6日 クラブ協議会・サークル連合総会
- 2月10日 スノーボード教室
- 2月13日 三学部学友会合同リーダーズキャンプ
- 2月23日 東新大学学友会公式訪問団オリエンテーション
- 3月8日 第16期就学困難な学生への支援制度最終審査
- 3月11日 短期大学部ウェルカムフェア
- 3月12日 東新大学学友会公式訪問(～15日)

### c) 対外的活動

- 3月10日 松本子どもまつり実行委員会

- 4月12日 松本子どもまつり実行委員会
- 5月24日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 5月27日 あたらしの郷協議会総会
- 6月28日 献血
- 6月2日 松本子どもまつり実行委員会
- 6月9日 平成28年度長野県青少年育成県民会議理事会
- 6月17日 あたらしの郷協議会 地域振興部会
- 6月19日 新村地区合同防災訓練
- 7月4日 参議院議員通常選挙18歳選挙権導入に伴う投票啓蒙活動（チラシ配り）
- 7月15日 松本ぼんぼん連長会議
- 7月20日 長野県私立短期大学体育大会組合せ抽選会
- 7月26日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 8月4日 総合グラウンド運営会議
- 8月5日 松本ぼんぼん
- 8月24日 高等教育コンソーシアム信州大学祭実行委員会合同記者会見
- 9月4日 新村運動会
- 9月27日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 11月5日 新村文化祭（～6日）
- 11月22日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 12月13日 献血
- 12月17日 あたらしの郷協議会「新村地区の夢を語るwith松大生」

## (10) 就職委員会

### a) 委員会開催

平成28年8月2日（火）

- ①就職合宿、就職業界研究勉強会、学内合同企業説明会、進路未決定者、キャリア面談等の年間行事予定についての確認がされた。
- ②保護者就職説明会は現状、学部が3年次の5月下旬に、短大が1年次の11月下旬に開催していることを踏まえ、開催の時期やプログラム等について現在の状況や問題点等について意見交換を行った。特に学部の問題点として、開催時期、個別相談件数が少数であることなどが挙げられ、各学部において協議することとした。
- ③今年度の傾向として、企業による内定承諾書の提出期限が早まっていることがあげられた。それにより一部の学生に混乱が生じたことを踏まえ、次年度以降は学生に内定獲得後の対応等を詳しく説明することとした。
- ④SPI模擬試験結果の状況が報告された。また、現状の把握と今後の改善等に活かすため、各学部のSPI・一般教養に係わる対応を確認した。
- ⑤未活動者に対する就職支援の取り組み事項が確認された。
- ⑥キャリア面談について、学年毎に設定しているテーマや目的、面談員に要請している事項、学生の参加率等が報告された。

平成28年11月29日（火）

- ①来年度の年間予定案が示され、審議の結果了承された。
- ②保護者説明会は例年同様の日程とすること、また将来的には日程を含め学部毎に検討される可能性があることを確認した。
- ③3学部の就職内定状況が報告された。今年度を振り返って、早期に内定した学生の中で、辞退せず就職活動を継続したケースが報告された。今後も学生の利益を確保しつつ、内定先企業と学生とが円滑なコ



コミュニケーションを図ることにより、トラブルを未然に防ぐ必要性などについて意見交換を行った。これまでは内定獲得後に就職活動を継続したい学生に対して、主に個別対応の中で指導してきたが、今後はガイダンスの中で学生全員へ説明する方針であることがキャリアセンターから報告された。

- ④学生が就職の応募状況をメソフィアに入力することにより、学生・教員・職員の三者が応募状況を共有できるシステムについて説明がなされ、来年4月を目処に稼働開始の予定であることが報告された。

## b) 事業

求人依頼：平成28年1月（約12,000事業所）

保護者就職説明会：平成28年5月28日（土）（学部）、平成28年11月26日（土）（短大）

学内合同企業説明会：平成28年6月18日（土）、平成29年3月7日（火）、24日（金）

夏季就職合宿：平成28年9月1日（木）・2日（金）、9月8日（木）・9日（金）

就職対策講座：平成29年1月7日（土）・8日（日）

就活直前セミナー：平成29年2月27日（月）・28日（火）

キャリア面談：平成28年5月～6月（2年生）、8月～9月（4年生）、平成29年2月（3年生）、2月～3月（新入生）

## c) 各学部の部会開催

(i) 総合経営学部…平成28年4月5日（火）、5月11日（水）、6月1日（水）、7月6日（水）、8月26日（金）、10月6日（木）、11月2日（水）、12月2日（金）、平成29年1月6日（金）、1月31日（火）

(ii) 人間健康学部…平成28年4月6日（水）、5月9日（月）、6月6日（月）、7月7日（木）、8月31日（水）、10月7日（金）、11月1日（火）、12月6日（火）、平成29年1月6日（金）、2月3日（金）、3月1日（水）

(iii) 松商短期大学部…平成28年4月12日（火）、4月26日（火）、5月10日（火）、5月24日（火）、6月7日（火）、6月21日（火）、7月5日（火）、7月19日（火）、9月28日（水）、10月12日（水）、10月26日（水）、11月9日（水）、11月22日（火）、12月7日（水）、12月21日（水）、平成29年1月11日（水）、1月25日（水）

## 2. 研究推進部門

### (1) 研究推進委員会

#### ①委員会開催

4月27日(水)

- ・私学事業団経常費補助金特別補助「大学間連携等による共同研究」募集に係る要領等について説明がなされ、審議の結果、原案どおり承認された。
- ・個人研究費交付等に係る内規及び学術助成費交付等に係る内規の改定案について提案がなされた。

6月22日(水)

- ・「大学間連携等による共同研究」への申請案件について審議がなされ、異議なく承認された。

7月27日(水)

- ・「大学間連携等による共同研究」への申請案件について審議がなされ、異議なく承認された。
- ・私立大学研究ブランディング事業への取組みについて、研究推進委員会を実施体制・支援体制の主体とすることについて提案がなされ、審議の結果、承認された。

9月28日(水)

- ・学内研究費に係る予算申請日程等について提案がなされ、審議の結果、承認された。
- ・学内研究費取扱要項の一部改正について提案がなされ、審議の結果、承認された。

1月30日(月)

- ・平成29年度研究助成費査定結果について、審議の結果、異議なく承認された。

#### ②事業・活動

- ・平成29年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果通知
- ・第5回松本大学教員研究発表会開催
  - 3月1日(水) 発表者11名／聴講者 39名
  - 3月2日(木) 発表者9名／聴講者 35名

### 1) 研究誌編集部会

#### ①事業・活動

##### a) 「地域総合研究第17号Part1」発行

- 4月8日 執筆意向調査案内(4月10日締切)
- 4月11日 追加募集
- 5月10日 原稿締切
- 5月 提出原稿より査読
- 7月31日 発行

※原著論文3編、研究ノート3編、調査・事例報告2編の合計8編を掲載した。

##### b) 「松本大学研究紀要第15号」発行

- 7月28日 執筆意向調査案内(10月3日締切)
- 10月3日 追加募集
- 11月4日 原稿締切
- 11月 提出原稿より査読
- 1月31日 発行

※原著論文4編、研究ノート6編、調査・事例報告1編、教育実践報告3編の合計14編を掲載した。

##### c) 研究誌規程・研究誌執筆要項の改正を行った。

(3月22日研究推進委員会での承認を受け、3月30日の理事会で決定。2017年4月1日より施行した)

## 2) 松本大学出版会運営部会

### ①事業・活動

- ・松本大学出版会規程の改正を行った。(平成28年8月1日より施行)
- ・出版申込み書の整備を行った。
- ・昨年度出版した「地域づくり再考～地方創生の可能性を探る～」について、広報・販売活動を行った。
- ・既存の書籍についての販売、在庫管理等を行った。

## 3) 地域総合研究センター運営部会

### ①センター運営部会の構成 14名

- 運営委員長 (センター長) 1名
- 運営委員 教員 10名 (大学院1名、総合経営学部3名、人間健康学部3名、短期大学部3名)
- 特別調査・研究員 7名
- 外部研究員 2名
- 事務局 4名

### ②会議

4月27日(水)

- ・特別調査研究員  
地域連携(COC)戦略会議より推薦のあった地域総合研究センター特別調査研究員(継続採用5名、新規採用2名)について、本年度特別調査研究員として採用することが承認された。

### ③事業・活動

#### (1) 地域との連携事業

##### i) 松本市との提携活動(継続事業)

##### a) 松本市地域づくり研究連絡会

担当: 総合経営学部総合経営学科 木村晴壽教授  
総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸 洋教授

##### b) 観光ホスピタリティカレッジ企画・運営(事務局業務)

##### <公開講座>

- ・申し込み受付 12月2日(金)～2月15日(水)
- ・内容(全4講座)
  - 第1講:12月2日(金) 会場:松本市中央公民館  
「ディズニーから学ぶ魔法のおもてなし」 参加人数:100名
  - 第2講:12月8日(木) 会場:松本市商工会館  
「外国人が求めるおもてなし」 参加人数:80名
  - 第3講:2月2日(木) 会場:松本市中央公民館  
「松本の魅力どこまで知っていますか?」 参加人数:70名
  - 第4講:2月15日(水) 会場:松本市中央公民館  
文化勲章受章記念「草間彌生が生まれた理由」 参加人数:70名

受講者総合計人数:320名

##### ii) 地域づくりインターンシップ戦略事業

- ・内容 松本市と「地域づくりインターンシップ戦略事業業務委託契約」を締結し、地域総合研究センター特別調査研究員7名が松本市内の各地区地域づくりセンターを活動拠点として、地域づくりに関する研究活動等を行った。
- ・特別調査研究員・活動地区  
岩垂 綾:入山辺地区

塚原 有香：鎌田地区  
 松本 尚子：奈川地区  
 濱 由佳子：中央地区  
 丸山 裕也：四賀地区  
 伊藤実沙子：芳川地区  
 一色 美月：新村地区

(2) 受託事業窓口業務

- a) 平成28年度「松川村観光振興支援業務」  
 受託先機関：松川村／担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 山根宏文 教授
- b) 平成28年度「池田町観光振興支援業務」  
 受託先機関：池田町／担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 山根宏文 教授
- c) 安曇野市子ども学習支援事業  
 受託先機関：安曇野市／担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 尻無浜博幸 教授
- d) 企業の健康経営促進に関する連携協定  
 受託先機関：松本商工会議所・松本市勤労者共済会・全国健康保険協会長野支部・松本市  
 担当：人間健康学部学部長 等々力賢治 教授
- e) 生坂村連携・協力協定による活動
  - ・生坂村通学合宿における食育活動  
 担当：人間健康学部健康栄養学科 廣田直子 教授
  - ・域学連携活動「こたろう大学」  
 担当：人間健康学部スポーツ健康学科 犬飼己紀子 教授
  - ・筋力向上プログラム  
 担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子 専任講師
- f) 6次産業推進にかかわる研究開発業務  
 受託先機関：有限会社あづみの食品・株式会社まるたか  
 担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- g) 6次産業推進  
 受託先機関：齋藤農園／担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- h) 安曇野市の特産品を使用した新たな商品の開発  
 受託先機関：安曇野市商工会／担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- i) 焙煎そば粉EXを使用したそばまんじゅうの新商品開発  
 受託先機関：安曇野市商工会／担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- j) わさびを使用した新商品開発  
 受託先機関：安曇野市商工会／担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- k) 安曇野市地域資源活用型連携推進事業に伴う、農産物加工品製造の開発業務  
 受託先機関：有限会社ヘルシーフーズ／  
 担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- l) 新規健康食品の開発  
 受託先機関：株式会社日健総本社／  
 担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- m) 安曇野市「しゃくなげの湯」において販売及び提供する商品並びにサービスの商品開発。イベント等を通して安曇野市「しゃくなげの湯」の活性化。  
 受託先機関：株式会社ユアーズ静岡／  
 担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師
- n) テスコム電機の開発製品である「真空ミキサー」の有する性能が、健康（特に肌・消化器）に対して



作用する効果に関する小規模実証実験

受託先機関：テスコム電機株式会社／

担当：人間健康学部健康栄養学科 廣田直子 教授

o) 平成28年度キラリ☆アクア健康教室

受託先機関：筑北村／担当：人間健康学部スポーツ健康学科 根本賢一 教授

(3) 松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト活動支援業務（運営管理と会計処理）

（文部科学省「平成28年度緊急スクールカウンセラー等派遣事業」における、石巻市の再委託先として活動）

大街道小学校児童・保護者・教職員に対するウンセリング及び児童への学習支援活動

・ カウンセリング／11回

・ 学習支援／14回 参加学生数延べ67名 教職員延べ9名

児童数延べ 1年生72名 2年生88名 3年生170名 4年生31名 5年生64名 6年生74名

（合計 499名）

(4) 『地域総合研究第17号』 発刊

Part1 (9月30日)

Part2 (11月30日)

(5) 松本大学大学祭「梓乃森祭」50回記念『姜尚中氏講演会』企画・運営

日 時：10月16日(日) 14:00～15:30

場 所：松本大学2号館232講義室

講 師：姜 尚中氏（東京大学名誉教授）

演 題：「悩む力・心の力」

参加者：280名

(6) 外部研究員2名の活動

①中野和朗 キャリアスクール テーマ「ファウスト」資料の作成

②建石繁明 新聞等への投稿活動

## (2) 研究倫理委員会

### a) 委員会開催

平成28年4月20日(水) 16:05～16:15

(1) 委員会では、ヒトを対象とした申請研究が倫理的・法のおよび社会的観点から適正に遂行されるための要件を満たしているかを審議することを確認した。

(2) 学長が指名する大学院及び各学部から選出された教員として山田一哉教授、室谷心教授、矢崎久准教授、尻無浜博幸教授、河野史倫准教授、木下貴博准教授を、研究に関する倫理的及び法的事項を総合的に判断するにふさわしい識見を有する者として増尾均教授、福島智子准教授を、一般の立場を代表する学外者として瀬川格淳氏（専称寺住職）を委員会構成メンバーとすることを確認した。

(3) 下記の1件の申請について審議し、承認した。

①「イタリアにおける看取りに関する聞き取り調査」

大学院健康科学研究科 福島智子 准教授

平成28年10月28日(金) 17:00～17:20

(1) 下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

①「異なる形式のジャンプと競技特性の関連性」

大学院健康科学研究科 根本賢一 教授

(2) 倫理審査委員会報告システム操作マニュアルにしたがって、情報公開することを確認した。

平成29年3月31日(金) 17:00~17:40

(1) 下記の3件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

①「視機能に対するドナリエラ・バーダウィルカプセル接種の影響」

人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師

②「キックボクシングにおける急速減量の実態とその背景」

大学院健康科学研究科 福島智子 准教授

③「送球イップスに関する高校球児の実態調査とイップス体験についての聞き取り調査」

大学院健康科学研究科 福島智子 准教授

## b) 事業・活動

平成28年8月2日(火) 16:50~18:20

・研究倫理委員会主催で研究倫理に関する講習会を開催した。

講習会テーマ:「研究に「倫理」が必要なのはなぜか—哲学研究から医学研究まで—」

講師:東京大学 医療倫理学 中澤栄輔 助教

## 1) 動物実験部会

### a) 部会開催

平成28年4月21日(木) 11:30~11:45

(1) 部会では、従来通り動物実験の審査を厳格に行うことに加えて、公私立大学実験動物施設協議会による外部評価を受審することを確認した。

(2) 動物実験等に関して優れた識見を有する者として山田一哉教授・河野史倫准教授・川島均准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子准教授を、実験動物管理者として羽石歩美助手・塚田晃子助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。

(3) 下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

①「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」

大学院健康科学研究科 高木勝広 教授

②「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」

大学院健康科学研究科 河野史倫 准教授

③「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」

大学院健康科学研究科 山田一哉 教授

④「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」

健康科学研究科 山田一哉 教授

平成28年10月20日(金) 11:20~11:30

(1) 「平成27年度自己点検・評価報告書」を承認するとともに、大学HPにて公表されることを確認した。

(2) 「平成26年度自己点検・評価報告書」の評価結果を一部変更した。

(3) 飼養保管マニュアルを改訂した。

(4) 規程や動物実験教育訓練講習会開催、平成26年度使用動物数および動物実験部会委員会構成が大学HPにて公表されることを確認した。

## b) 事業・活動

平成28年5月18日(水)

・動物慰霊祭を開催した。

平成28年6月30日(木)

- ・公私立大学実験動物施設協議会総会に委員長山田一哉教授と実験動物管理者塚田晃子助手が参加した。

平成28年7月1日(金)

- ・公私立大学実験動物施設協議会が開催した平成28年度第1回研修会「実験動物管理者の教育訓練」を実験動物管理者塚田晃子助手が受講し、修了証を受領した。

平成28年9月9日(金)

- ・教職員、院生、学部生を対象に第1回教育訓練を実施した。

平成28年9月23日(金)

- ・公私立大学実験動物施設協議会の外部評価を受審した。

平成28年10月4日(火)

- ・健康栄養学会学部生を対象に第2回教育訓練を実施した。

平成29年3月28日(火)

- ・公私立大学実験動物施設協議会から「動物実験に関する検証結果報告書」「検証実施証明書」を受領し、大学HP上に公開した。

## 2) 遺伝子組換え実験安全部会

### a) 部会開催

平成28年4月21日(木) 11:50~11:55

- (1) 部会では、遺伝子組換え実験が安全に行われるように、遺伝子組換え実験計画および実験施設の審査を厳格に行うこと、および規程等の改訂を行うことを目的とすることを確認した。
- (2) 遺伝子組換え実験等に関して識見を有する者として山田一哉教授、河野史倫准教授、川島均准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子准教授を、学長から任命された安全主任者として浅野公介助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3) 下記の6件の申請について審議し、承認した。
  - ①「時計遺伝子と長寿遺伝子の発現相関は、糖代謝調節に関わるか?」  
人間健康学部健康栄養学科 浅野公介 助手
  - ②「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」  
大学院健康科学研究科 山田一哉 教授
  - ③「新規転写因子ファミリーZHXの生物学的役割の解析」  
大学院健康科学研究科 山田一哉 教授
  - ④「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」  
大学院健康科学研究科 河野史倫 准教授
  - ⑤「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」  
大学院健康科学研究科 高木勝広 教授
  - ⑥「酵母の形質転換」  
大学院健康科学研究科 高木勝広 教授

### 3. 入試広報部門

#### (1) 入試委員会

今年度の入試委員会は、従来からの大学院・総合経営学部・人間健康学部・松商短期大学の代表および入試広報室の職員に、平成29年度に開設される教育学部に異動予定の委員を加えて構成された。平成28年度は大学院代表が委員長を務めた。

入試委員会の業務は、①学生募集に関すること（オープンキャンパス、進学説明会、高校訪問など）、②入学試験に関すること（入試問題の作成と確認、入試の運営など）、および③①②で全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うことである。

また、入試委員会の下部組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討部会がある。

#### a) 委員会開催

平成28年4月13日（水）

下記の昨年度全学入試委員会からの申し送り事項を継続審議とすることを確認した。

##### ①一般・センター入試科目の適正について

2017年度入試の科目試験について、変更があるかどうかを確認する。

##### ②松商学園高等学校の系列校進学制度について

昨年度実施内容について、今後の変更の有無や各学科の方針を確認する。

##### ③特待3種の運用について

枠数や適用基準などについて、明確化の必要性も含め各科で確認する。

##### ④WEB出願割引を含む受験料の設定について

WEB出願割引及び受験料設定については、現状維持として昨年通りの設定とすることが承認された。

##### ⑤推薦入試・AO入試における外部英語検定による入試判定制度導入について

次年度以降の入試改革に向けて、他大学の動向を研究し検討を続けることが確認された。

##### ⑥推薦・AO入試改革検討について

学力を担保する試験とすべく、次年度以降の入試改革に向けて他大学の動向を研究し検討を続けることが確認された。

##### ⑦入学試験成績の開示について

提示された素案を基に、各学科で審議をし、6月中旬までに方向性を出すことが確認された。

平成28年8月1日（月）

##### ①2017年度入試について

全国の志望動向について、河合塾の模試データを元に学部学科の志望動向の報告がなされ、社会科学系統の人気と理系の低減傾向について確認がなされた。また、強化部・重点部ならびにスポーツで優秀な学生について、所定の手続きの徹底についてあらためて注意喚起がなされた。内定者の情報共有を強化し、各部署や部活など関係セクションが滞り無く対応できる体制とすることが確認された。

##### ②オープンキャンパスの課題について

最盛期のオープンキャンパスにおける学食のキャパシティが課題とされ協議がなされた。新学部設置によりさらなる参加者増が想定される次年度に向けて、学部学科で審議をすると同時に、イベント自体の進行見直しが提唱され、年度内の検討課題とされた。

平成28年9月29日（木）

##### ①2016年度入試の出題ミスについて

2016年度入試における出題ミスについて、発生状況と文部科学省および学内での対応についての報告がなされた。今後も引き続き学内において慎重且つ十分なチェックを行うことを確認し、文部科学省が公表している全国での入試ミスの具体例についての情報共有を行い、再発防止に向けた確認がなされた。



## ②次年度大学案内について

次年度の大学案内の制作者選定にあたり、費用や負担の軽減、経験や知識の蓄積などの観点から、随意契約による発注を行うことについて、いくつかの根拠書類が提出され、これを審議し、次年度大学案内の制作者が決定された。

平成28年11月21日(月)

## ①教育学部スカラシップ生規程について

教育学部スカラシップ生規程の提案がなされ、これを審議し、スカラシップ生認定取り消し条項について項目追加が確認された。

## ②ホームページリニューアル業者継続契約について

次年度のホームページリニューアルの制作者選定にあたり、費用や負担の軽減、経験や知識の蓄積などの観点から、随意契約による発注を行うことについて、いくつかの根拠書類が提出され、これを審議し、次年度大学案内の制作者が決定された。

平成29年3月14日(火)

## ①募集定員について

文部科学省に申請中の各学科の募集定員および次年度入試の区分および区分ごとの募集人数について4月中を期限として審議し決定することが確認された。

## ②入試内容について

次年度のAO入試・推薦入試・一般入試(全学共通)の内容について各学科で議論して案を出すことを確認した。あわせて松商学園高校への入試対応を制度として明確化する必要性が提唱され、各学科の実情に合わせたルールおよび募集上限人数等を設定することの確認がなされた。短大部から総合経営学部への編入学について、施策を明確化することの提唱がなされた。また、入試段階における両学部の併願受験についても提唱がなされ、共通科目試験の導入などを検討することの確認がなされた。英語外部試験利用など今後検討することの確認がなされた。

## ③入試日程について

次年度入試日程が確認された。

## ④2017年度オープンキャンパスについて

オープンキャンパス参加状況の変化、学部増による影響を踏まえ、2017年度オープンキャンパスの運営改善案が提示された。3月、4月を試行期間としつつ5月からの運用を目標に内容を検討していくことの確認がなされた。

**(b) 事業・活動**

## i) オープンキャンパスの実施

高校生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学ならびに各学部学科の魅力をアピールするとともに、様々な相談に対応して受験者の獲得に努めた。なお、日程ならびに動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

## ii) 授業公開の実施

前後期にそれぞれ1回ずつ、高校生と保護者が通常講義を見学できる授業公開日を設定した。なお、日時や動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

## iii) 学外での模擬授業・模擬面接の実施

学外、多くは高等学校内で実施される模擬授業ならびに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、Ⅲ-1-⑤高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

## IV) 学外でのガイダンスの実施

学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、入試広報室の項を参照されたい。

## 1. 入試問題検討部会

### a) 部会開催

平成28年6月12日(日)

- i) 学長より昨年度入試の御礼及び、今年度入試から教育学部が新設されるため、その旨依頼がなされた。
- ii) 学内教科担当者及び、作題担当者が自己紹介を行った。
- iii) 教育学部設置準備室課長より、教育学部学校教育学科の概要及び、入試内容について説明がなされた。
- iv) 今年度作題スケジュールについて確認がなされた。
- v) 科目別の担当者に分かれ、アドミッションポリシー、出題範囲、難易度、構成などについて、詳細に打合せがなされた。

### b) 事業・活動

#### i) 作題案の確認と修正

大学教員との相談を受けて、作題者が作問した。その後、各担当教員との間で、その内容に関する意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正各担当教員の了承を得た上で、最終作題案が決定された。

#### ii) 最終作題案のチェック

最終作題案に対し、担当教員や複数の事務職員による確認作業を行った。いくつかの修正を経た上で試験問題の作成が完了した。

## (2) 全学広報委員会

広報委員会は、年4回、学報「蒼穹」を編集・発行すること、ならびに日常的に大学ホームページの更新・充実を行う内容を決定する。教員委員は、全学入試委員会と同じ委員である。基本的にメール審議とした。

### a) 委員会開催

平成28年5月19日(木)

「蒼穹 vol.123」についてページ構成案の確認がなされた。「松本大学の改革と今後の展望について」を特集とした。

平成28年8月1日(月) 第3会議室

「蒼穹vol.124」についてページ構成案の確認がなされた。「教育学部学校教育学科2014年度4月開設」を特集とした。

平成28年11月1日(火)

「蒼穹vol.125」についてページ構成案の確認がなされた。「多彩な情報を発信する松本大学図書館」を特集とした。

平成29年2月2日(木)

「蒼穹vol.126」についてページ構成案の確認がなされた。「松本大学と新村地区連携活動の実績紹介」を特集とした。

## (3) 高大連携推進委員会

### (a) 平成27年度の委員会の運営

高大連携推進委員会は、総合経営、人間健康、松商短大の3学部から学部毎1名の教員が委員となり、管理課に事務局を置き運営している。高大連携の取組は学部毎に目的や方法が異なることや意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての共有化を図っている。委員会全体としての活動は、主として情報交換を主としたメール会議を適宜開催し、必要な場合には学部を超えた相互支援を行う体制をとっている。

## (b) 平成28年度の活動内容

## 1. 総合経営学部

## ① デパートサミット（マーケティング塾・デパートゆにっと）

デパートサミット事業は、長野県商業教育研究会が主催し、松本大学が共催して平成25年度より実施している県内の商業高校を中心とした高校生の人材育成事業であり、毎月1回松本大学において開催される「マーケティング塾」とその成果を検証する合同販売会の「デパートゆにっと」によって構成されている。

## 〈第4期 平成27年12月～平成28年10月〉

第4期として9回に亘りマーケティング塾を開催し、その成果の発表として、平成28年8月にながの東急にて、「デパートゆにっと」として3日間実施し、高校生が県内の12校から71名、教員27名が参加した。また県外より3校の高校も参加した。

## 〈第5期 平成28年12月～平成29年3月（継続中）〉

第5期のマーケティング塾として今年度は3回実施し、高校生が11校から65名、教員23名が参加した。第5期より第4期にはオブザーバー参加だった南安曇農業高校が正式に参加して商業高校の高校生と共に学び、連携して商品開発に取り組んでいる。

本学は平成28年度より事業の支援にとどまらず、主体的に事業に参画し、教員や学生の関与も高校生のサポートだけでなく、大学の教育活動としての位置づけとなった。特に学生組織「ゆにまる」の学生が高校生と一緒に学び、具体的な活動に取り組んでいる。「ゆにまる」は、高校時代にデパートサミット事業に参画し、卒業後に本学に進学した学生を中心にデパートサミット事業を支援することを目的とした学生組織であるが、昨年度まではマーケティング塾における運営アシスタントを担うことが主目的であったが、「ゆにまる」として商品開発等を行うなど、主体的にデパートサミット事業に参加している。

## 〈バレンタインスイーツ販売 平成29年2月11・12日〉

2日間にわたり、諏訪実業高校、穂高商業高校、丸子修学館高校、辰野高校、松商学園高校、長野商業高校、南安曇農業高校、飯田OIDE長姫高校と観光ホスピタリティ学科向井ゼミ、短期大学部金子ゼミ、健康栄養学科矢内ゼミ、「ゆにまる」など約80名が参加して商品開発を行ったスイーツの販売をアイシティ21（井上百貨店）にて行った。なお、2月4日には事前の準備として商品発表会等を行った。

## 〈デパートサミット事業の効果に関する研究〉

平成28年度より、デパートサミット事業が地域の人材育成にどのような役割を果たし、具体的にどのような成果を産み出しているかについて検証し、さらに高大連携型の人材育成モデルの構築を図ることを目的として、「高大連携による地域人材の育成に関する実証的研究～デパートサミット事業の成果と可能性～」の研究について観光ホスピタリティ学科の教員によって取り組まれている。この研究は、3年にわたり行う予定で、1年目は特にデパートサミット事業が個々の生徒の成長や学びに関してどのような影響を与えたか、その成果の検証を行い、2年目は高校あるいは大学における地域の人材育成に関する教育の質の向上について成果を検証し、3年目は地域の人材を育成する観点から成果を検証するとともに、高大連携型の人材育成モデルの構築を図ることとしている。

## ② 地域人教育

「地域人教育」は、平成24年度から飯田長姫高校が開始した地域社会に貢献できる「人財」を育成することを目指し、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育む教育プログラムであり、平成24年度に飯田長姫高校（当時）、飯田市、松本大学による「地域人教育の推進に向けての3者の連携協定」を締結し実施している。

「地域人教育」は、1年次は大学教員や地域の専門家による飯田の歴史や地域資源に関する講義と街中を歩いて地域の魅力や課題を把握する「フィールドスタディ」を通じた「地域を知る」、2年次は地域のイベントへの参加や商品開発、情報発信を行う「地域で活動する」、3年次はグループごとに地域課題について地域と連携して解決に取り組む「地域の課題解決に向けて行動する」という3年間



で7単位、245時間の正課のカリキュラムによって構成されている

本年度は、総合経営学部より延べ3名の教員が高校にて講義や実習指導を行ったほか、松本市内におけるフィールドワーク実習や高校生の活動を大学生が評価する交流事業などを実施した。また、地域人教育の円滑な推進のために、高校教員や飯田市職員との協議や学習会、研修などを行い、信頼関係を構築するとともに、事業の目的などの共通理解を図った。

### ③梓川高校・田川高校と地域の連携教育への支援

梓川高校には、観光ホスピタリティ学科から7年前より福祉の科目について教員を講師として派遣している他、学校評議員会にも委員を派遣している。その結果、地元地域と高校との間で連携協力関係が構築されている。また、田川高校については、平成25年度から、高校の地元村井駅前の商店街より高校との連携を発展させたいとの要望が本学に寄せられたことをきっかけとして、7月に開催される「村井商工祭」において、高校生と大学生のコラボレーションによる子ども向けのイベントを実施した。

本年度新たに開始された高大連携活動としては、県内の高校としては唯一のコミュニティ・スクールとして「国際観光学科」を本年度新設した白馬高校の学校運営委員会・会長を派遣した他、諏訪実業高校に対しては、「スーパープロフェッショナル・ハイスクール」事業の「文化ビジネスエキスパート育成事業」において、講義の実施や研究推進委員会・運営指導委員会への委員の派遣を行った。

## 2. 人間健康学部

### ①岡谷東高校との連携事業

岡谷東高校健康スポーツコースの生徒が、本学において大学の専門科目を受講しながら、学食利用などのキャンパスライフを疑似体験する内容で今年度も実施した。模擬講義の日程および内容は以下のとおりである。

- 7月4日(月) 1年生対象 齊藤茂「スポーツ心理学」・中島節子「養護教諭・健康」・岩間英明「運動学について」
- 7月5日(火) 2年生対象 中島弘毅「レクリエーション学」・田邊愛子「トレーニングについて」・犬飼紀子「レクリエーション支援実習」
- 9月12日(月) 2年生対象 河野史倫「宇宙生理学」・岸田幸弘「教育学」・新井喜代加「スポーツ法学」
- 9月13日(火) 1年生対象 等々力賢治「現代スポーツ論」・江原孝史「生活習慣と予防」・根本賢一「トレーニング科学」

### ②松商学園高校における出前講義

平成26年度から松商学園高校3年生の生徒を対象に、本学の教育内容やカリキュラム等への理解を深め、本学に進学を希望する学生の参考となるようにプログラムを設定している。日程および内容は以下のとおり。

- 5月23日(月) 石原三妃「健康栄養学科説明」・根本賢一「スポーツ健康学科説明」
- 6月21日(火) 石原三妃「食物アレルギーについて」・等々力賢治「スポーツとビジネス」
- 7月4日(月) 高木勝弘「化学の基礎」・岩間英明「教育とスポーツ指導」

### ③エクセラン高校との連携事業

連携協定校であるエクセラン高校の環境科学コースと本学健康栄養学科杉山研究室、信州大の学生団体「teamめとば」が共同で、「福島原発事故以降の放射性物質の影響」を研究テーマとした活動を行った。具体的には、杉山教授とともに杉山ゼミナールの学生が高校生に対する講義、指導、試料測定、解析の分担、共同調査に参画、データ共有を図り、6月19日(日)「第3回エコスクール」(10:00~12:20)として、エクセラン高校理科室において、総勢60名参加のもと、成果発表を行った。杉山研究室の報告テーマは「身近な食品に含まれる放射性物質の存在量と安全性の検討」であった。

## 3. 松商短期大学部

### ①大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の



専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉学意欲および進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

i. 松商学園高校との連携 (14:00~15:00、15:10~16:10)

- 7月20日(水) 浜崎央「医療事務入門」(48名)・金子能呼「マーケティング」(45名)
- 21日(木) 中山文子「心理学入門」(72名)・小澤岳志「ブライダル入門」(35名)
- 22日(金) 糸井重夫「国際コミュニケーション」(28名)・廣瀬豊「UD入門」(16名)

ii. 穂高商業高校(全日程96名)・諏訪実業高校(7月25日 49名、7月27日 112名)との連携

- 7月25日(月) 金子「マーケティング①」・飯塚「経営学の基礎」・香取「会計学入門①」・山添「経営分析」
- 26日(火) 金子「マーケティング②」・糸井「経済学入門」・浜崎「パソコン演習①」・山添「Excel経営分析」
- 27日(水) 中山「心理学入門①」・廣瀬「UD入門」・糸井「キャリアクリエイト①」
- 3月21日(火) 金子「マーケティング③」・小澤「ブライダル入門」・中山「心理学入門②」・藤波「銀行論入門」
- 23日(水) 浜崎「パソコン演習②」・香取「会計学入門②」・糸井「キャリアクリエイト②」・金子「松商短大の学び」

②高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校においてすでに日商2級レベルに達している3年生徒を対象として、本学教員(香取・山添)が同校に週1回出向いて日商1級レベルの「会計学」「原価計算」の講義を行う取組であり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。今年度は4月18日から1月23日の毎月曜日10:20~12:10に全24回実施し、参加生徒数は昨年同様の40名であった。

#### (4) センター入試委員会

センター入試委員会は、本学キャンパスを平成29年度大学入試センター試験の試験会場として運営するための準備と運営、大学入試センターや他試験場との調整を主な業務として活動した。本年度は、各学部学科から教員6名、職員5名の委員構成となった。

今年度はインフルエンザ流行期と重なったため、追試験申込者や別室試験者が出て対応に追われたが、結果的に問題なく対応することができた。

##### a) 会議

①第1回長野県地区連絡会議

平成28年6月27日(月) 遠隔会議システムにて  
 新試験会場として飯田高校が追加されたことを確認  
 県内各試験場における志願者推計数と収容数の割当およびグループ化について確認  
 障害等のある受験生への対応、リスニング予行演習に伴う機器の取扱いについて検討  
 予備追試験会場の担当を各大学が持ち回りで担当する案について検討(今後継続審議)

②第1回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会

平成28年8月22日(月)メルパルク東京  
 大学入試センターより平成29年度試験実施内容の解説

③第2回長野県地区連絡会議

平成28年11月11日(金) 遠隔会議システムにて  
 県内各地区の試験会場の収容予定数(速報値)と状況の報告  
 試験場設置に関する課題  
 信州大学より次年度以降の本学教育学部新設に伴う受験生増員検討要請

④センター入試委員会

平成28年11月22日(火)

- 学外参加会議の報告と当年度試験の変更点の確認
- 本学試験会場の試験室、控室、救護室の確認
- 監督者等の配置基準の検討
- 監督者会議およびリスニング予行演習に向けた各委員の役割分担の検討
- 監督者会議およびリスニング予行演習の進行と説明内容の確認
- ⑤第2回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会
  - 平成28年12月5日(月)メルパルク東京
  - 大学入試センターより試験当日の留意点、問題訂正等の解説
  - 文部科学省より新大学入試制度に関する進捗状況報告
- ⑥第1回監督者会議
  - 平成28年12月7日(水)
  - 監督者に向けた業務内容の概説
- ⑦第1回リスニング試験予行演習
  - 平成28年12月14日(水)
  - リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験実施方法の解説
- ⑧第2回リスニング試験予行演習
  - 平成28年12月22日(木)
  - リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験の事故対応解説
- ⑨試験問題の受取・仕分作業
  - 平成29年1月6日(金)
  - 問題冊子と解答用紙の仕分けと保管
- ⑩第2回監督者会議
  - 平成29年1月13日(金)
  - 監督者に向けた業務内容の詳説
- ⑪試験会場設営準備作業
  - 平成29年1月13日(金)
  - 各試験室の設営と検査
- ⑫センター入試業務の実施
  - 平成29年1月14日(土)・15日(日)
  - 試験業務の実施
  - 解答用紙のチェックと保管
- ⑬答案用紙等の引渡
  - 平成29年1月16日(月)
  - 運送業者への答案用紙等の引き渡し作業

## 4. 管理部門

### (1) 全学協議会

学長、副学長、各学部長・学科長並びに事務局長及び総務課長、学生センター長を構成員とする全学協議会は、平成23(2011)年度の組織改革の中で、最高意志決定権者である学長の下に設置され、学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関と位置付けられた。以降、短期大学部も含めた学部横断的課題・事項について審議し結論を得るとともに、各種報告事項についても適宜取り扱い、情報の全学的共有化に努めてきている。

今(平成28)年度も、上記の設置趣旨を踏まえ、事前に開催された全学運営会議において確認、整理された審議事項について慎重に審議し決定することを中心に、報告事項についても適切かつ適確に周知を図るべく努めた。

以下、各回会議において審議・承認された事項を中心に、今年度の活動状況を概述する。

#### 第1回 平成28年4月27日(水)

##### 1. 教職課程の取扱いについて

中学校英語課程について、教育学部学校教育学科で認定を得るべく申請することが提案され、異議なく承認された。また、中学・高校理科については、学部・学科の改革と併せ、計画どおり人間健康学部健康栄養学科で認定を得ることとした。

##### 2. 女子ソフトボール部コーチについて

不在となっている同部コーチについて、赤澤信二氏を採用したいとの提案がなされ、待遇並びに本人に確認済みであることなどの説明と併せて履歴書が回覧され、異議なく承認された。

##### 3. 国際交流センター事務職員の呼称について

松本秀峰中等教育学校より国際交流センターに出向している教諭の呼称について、名刺上の呼称を「国際交流センター専門員」としたいとの提案がなされ、特例を条件に承認された。

##### 4. 競技優秀者(W杯、全日本クラス)に対する学費免除について

フリースタイルスキー・モーグル競技の杉本幸祐について、日本代表メンバー入りするなど好成績を上げていることから、スポーツ特待生Ⅱ種の扱いとすることが提案され、異議なく承認された。

#### 第2回 平成28年5月25日(水)

##### 1. 平成29(2017)年度以降の教授会の持ち方について

教育学部開設に伴って、来年度以降の教授会の持ち方を、第1・第2水曜日に2学部ずつ教授会を、また第3水曜日に全学協議会をそれぞれ開催することとし、学長は要請された教授会に出席することを試行したいとの提案がなされ、詳細は今後詰めることとして承認された。

##### 2. 平成29(2017)年度からの入学式について

来年度の教育学部開設に伴って入学者が増加することから、第一体育館に着席できない保護者については、524教室等にライブ配信する設備を整えて参加してもらうこととしたいとの提案がなされ、異議なく承認された。

##### 3. 新たな教職課程(英語・理科)の推進及び課程認定申請に向けての体制について

平成30年4月開設予定の教職課程について、具体的に申請の準備を進めるために、教職センターを中心に必要な人に協力を得つつ進めたいとの提案がなされ、異議なく承認された。

##### 4. 松本大学出版会規程の改正について

資料に基づいて文言を整理した改正案が示され、審議の結果、案にある「著作権」を法律用語である「複製権」「譲渡権」と一部修正の上、承認された。

#### 第3回 平成28年6月22日(水)

## 1. 平成28(2016)年度補助金申請について

資料に基づいて平成28年度私立大学等改革総合支援事業について説明がなされた上で、補助金の獲得を目指す各種体制整備等が必要になっていることから以下の事項について取組を進めたいとの提案がなされ、それぞれについて審議の結果、異議なく承認された。

- i) 外部評価委員会の設置
- ii) IR推進室及び担当者の選任
- iii) 松本大学松商短期大学部と松本市の包括連携協定

## 2. 人間健康学部開設10周年及び教育学部開設記念式典について

平成29(2017)年度に、標記式典を開催したいとの提案がなされ、承認された。

## 3. クラブ活動コーチ等の採用時の手続き及びルールについて

強化部・重点部に関係するコーチについて、当該クラブの実情に応じてコーチ候補者を全学学生委員会に推薦し、その審議を経て、全学協議会において審議し確定すること及び、他のクラブについては全学学生委員会が運用する従前のルールによることが確認された。

また、本学にはない部活動で高い実績(例えば、インターハイレベル以上)を持つ入学希望者がいる場合には、高校訪問時やオープンキャンパス等の機会を通じ、可能な限り早い段階で、入学後のクラブ活動の意向についての情報を収集すべく、入試広報室、学生委員会、受験予定の学科間で情報共有を図るよう努めることが確認された。

## 第4回 平成28年7月27日(水)

## 1. 私立大学研究ブランディング事業について

運動指導による体力向上、医療費削減、地域活性化を目指して、中小企業の従業員を対象に実施して効果測定を行い、地域に立地する他の中小企業にも拡げていく取組みを内容としたものが提案され、審議の結果、異議なく承認された。

## 2. 平成28(2016)年度補助金申請について

## i) 外部評価委員会の立ち上げについて

私立大学等改革総合支援事業の申請にあたり、多岐にわたって地元自治体や地域の企業などから外部的に点検を受けることが求められているため、①外部評価委員会を立ち上げること、②委員を資料の通り松本市、松本市教育委員会、地元高等学校の教諭、地域の企業、地域町会関係者の5者とするものが提案され、審議の結果、異議なく承認された。

## ii) ICT活用推進事業について

当補助金について、121・232講義室等の音響設備が老朽化し授業に支障をきたす場面も生じているため、その改修を申請したいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

## 3. 松本大学発明取扱規程(案)について

本規程は、前日の理事会において既に承認されたものであるが、改めて詳細な説明がなされ、異議なく承認された。なお、施行日は平成28年8月1日である。

## 4. 緊急時の一斉休校基準の運用細則(案)について

「松本大学一斉休校および臨時休業に関する基準」に具体的な定めがないことから、一斉に休校または延期する措置を講ずる際の細則が提案され、審議の結果、異議なく承認された。

## 5. 松本大学産学官連携ポリシー(案)について

私立大学等改革総合支援事業のタイプ3「産業界・他大学等との連携」において策定を求められているもので、審議の結果、提案どおり異議なく承認された。

## 6. 教職課程(理科)認定申請に向けて

新県立大学の開学により健康栄養学科が影響を受ける可能性があるため、対応策の一つとして中学校及び高等学校理科の教職課程認定を目指すものであり、申請に向けて準備委員会を立ち上げること及び、その構成メンバーについて提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

## 7. 平成28(2016)年度委員会構成の修正について



- ①研究推進委員会の下に発明管理部会を置くこと、②AO入試の担当部署として入試委員会の下にAO運営部会を置くこと、③両部会の増設に応じて事務担当者を配置すること、④8月1日付で委員会構成を変更することの4点が提案され、審議の結果、異議なく承認された。

#### 第5回 平成28年9月28日（水）

##### 1. 強化部・重点部等の「戦力補充予定候補者一覧」の扱いについて

強化部・重点部における戦力補充について、各部が必要と判断する候補者については、当該部長が所定の「戦力補充予定候補者一覧」の様式に従って一覧表を作成すること及び、その際、事前指導が終了していること並びに交渉内容が明確に記載されていることを条件としたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。併せて、提出時期について、該当する入試前に十分な検討時間を持てることを原則とし、最終提出を10月末とすることが確認された。

関連して、強化部・重点部以外の競技で特に優れた戦績を持つ生徒の扱いについて検討がなされ、①受験希望学部の学部長・学科長がオープンキャンパス等の機会に事前に面談を行うこと、②そこで本学の実情を十分に説明した上で本人の意向を確認すること、③その上で、本人の意志が固く、また受け入れ可能であると判断した場合には「戦力補充予定候補者一覧」に記載し入試委員会に提出することの3点が確認された。

##### 2. 学内研究費の取扱について

研究推進委員会での検討に基づいて説明がなされた。審議の結果、異議なく承認された。

#### 第6回 平成28年10月26日（水）

##### 1. 平成30年度に向けての取り組みについて

###### i) 教職課程：英語・理科（申請）、福祉（廃止手続）

中学校並びに高等学校の英語と理科の教職課程認定に向けた準備状況が報告され、併せて、福祉については希望者が少ないことから廃止手続を進めることが提案され、異議なく承認された。

###### ii) スポーツ健康学科の入学定員増について

まず、入学定員超過率について、文部科学省の認可申請基準の変更（1.3倍から1.15倍へ）について説明され、それを受けて、10月19日（水）の人間健康学部教授会においてスポーツ健康学科の入学定員を10名増員して90名とすることが承認されたことを踏まえ、学則変更の申請を行いたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

##### 2. 「松本大学非常勤教員規程」の改正について

標記規程について、労働契約法の改正に伴い見直しを行うものであり、専門の法律事務所のアドバイスを得たものであるとの説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

##### 3. 小学校教員の内地留学受け入れ及び松本大学地域総合研究センター規程の改正について

①松本市立小学校に勤務する教諭より内地留学の希望が本学に打診され、前例のないことではあるが、将来的には教育学部ともつながっていくことから受け入れをする。②その方法として、「地域総合研究センター規程」を一部改正し、人員に特別研究員を追加する。③大学院の研究生に似た性格であるため、その受入要領を参考に「特別研究員受入要領」を定めた。以上三点が提案され、審議の結果、一部文言を修正の上承認された。

##### 4. 教職センターの体制について

教育学部設置に伴う平成29年度以降の教職センターの体制について、従来の「教職センター」を「総合経営学部・人間健康学部教職センター」とし、新たに小学校及び特別支援学校教諭免許を扱う「教育学部教職センター」を置き、両教職センターを取りまとめる形で全学教職センター運営委員会を置くことなどが提案され、審議の結果、異議なく承認された。

##### 5. サッカー部の強化部化について

今年度、天皇杯全日本サッカー選手権大会長野県予選決勝まで進み善戦したサッカー部について、

重点部から強化部に昇格させたいとの提案がなされ、審議の結果、強化部等に関する規程等の整備を今後進めていくことと合わせて承認された。

#### 第7回 平成28年11月30日（水）

1. 教務関連諸規程等の制定並びに改正等について
  - i) 松本大学教育学部進級に関する規程（案）  
上記規程について、一部文言を修正のうえ承認された。
  - ii) 松本大学スチューデント・アシスタントに関する内規（改正案）
  - iii) 松本大学修業年限を超えた留学生の学費に関する内規（改正案）
  - iv) 松本大学オフィスアワーに関する内規（改正案）
  - v) 松本大学授業のクラスサイズに関する内規（改正案）  
上記ii)～v)の4件の内規改正案について、審議の結果、各「目的」に松商短期大学部が含まれていなかったためこれを加えた上で承認された。
2. 十文字学園女子大学との事務職員の連携・協力に関する協定締結（12/2）について  
他大学と連携の実績が豊富な十文字学園女子大学と資料のとおり協定を結びたいとの提案がなされ、異議なく承認された。
3. 学生のボランティア活動推進についての覚書締結について  
一般財団法人日本財団学生ボランティアセンターより提案のあった標記覚書について、異議なく承認された。

#### 第8回 平成28年12月26日（月）

1. 教務関連諸規程等の制定並びに改正等について
  - i) 松本大学履修規程（案）
  - ii) 松本大学大学院履修規程（案）
  - iii) 松本大学松商短期大学部履修規程（案）  
学部に合わせて短期大学部も制定するものであり、審議の結果、異議なく承認された。
  - iv) 松本大学総合経営学部進級に関する規程（改正案）
  - v) 松本大学人間健康学部進級に関する規程（改正案）  
資料に基づいて上記の規程案並びに規程改正案について説明がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
2. 教育学部スカラシップ生規程（案）について  
教育学部設置に伴い、優秀な学生確保を目的に設けるスカラシップ生の定義について説明がなされ、審議の結果異議なく承認された。
3. 専任教育職員勤務及び授業担当規程の改正と遵守に向けた対応について
  - i) 嘱託専任教員タイプA及びBの出校日数  
嘱託専任教員の出校日数について、週3日以上としたいとの提案がなされ、異議なく承認された。
  - ii) 研修日の登録  
専任教員について、次年度の時間割確定後に研修日とする曜日を各期で登録してもらうこととしたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
  - iii) 学外業務の上限  
学外業務の上限について、「専任教育職員勤務及び授業担当規程」を改正し、「原則週2コマ」の文言を組み込むことで明確にしたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
4. 共愛学園前橋国際大学との包括的連携協定について  
同大学は、COC採択をはじめ本学と並び地方小規模大学でありながら注目の存在であることなどから、連携協定を結びたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

## 第9回 平成29年1月25日(水)

1. 諸規程等の改正等について
  - i) 就業規則第3条に基づく別則(改正案)について
 

就業規則の定年規定と本別則の嘱託専任教育職員規程との整合性を取るために改正するものであり、別則新旧対照表を基に説明、提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
  - ii) パートタイム職員就業規則の改正に伴う旧規程の取り扱いについて
 

パートタイム職員就業規則、パートタイム職員給与規程について、旧規程を廃止し、学園の規程を閲覧できるようにしたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
2. 専任教育職員勤務及び授業担当規程の遵守に向けた対応について
  - i) 嘱託専任教員の出校日数について
 

Cタイプについても同様としたい旨の提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
  - ii) 研修日の登録について
 

週4日以上の出校を年度当初に周知、徹底することとしたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
3. 入試日(センター試験、推薦前期、一般A)の学生の登校禁止について
 

センター試験準備日と当日及び推薦前期・一般A入試について、適切に試験運営を行うため全面的に登校禁止としたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

## 第10回 平成29年2月21日(火)

1. 常務会からの申し入れについて
 

小倉法人事務局長より、常務会からの申し入れとして、平成29年度予算編成が進む中で財政的に非常に厳しい見通しとなっていること及び、2月4日、5日に行われた一般A入試の発表結果について、少なくとも高校から問い合わせが寄せられていることなどから、現在議論を進めている大学院構想を先送りし、その前提となる合格者数抑制方針の転換をお願いしたい旨の依頼がなされた。

申し入れを受けて慎重に議論した結果、全学協議会としては、常務会からの申し入れを理解するものの、総合経営学部については、2月27日(月)開催予定の臨時教授会における結論を尊重することを確認した。
2. 留学生向け宿舎について
 

遊技場運営会社からの提案を踏まえ、また、国際交流センターから留学生用の宿舎整備の希望があることから、本学が月額30万円と水道光熱水費を支払うこととして契約したいとの提案がなされ、異議なく承認された。
3. 次年度の体制並びに特別部会の設置について
  - i) 総合経営学部を基礎とする「大学院(地域経営研究科(仮称))設置準備室」
  - ii) 再課程認定対応準備室
 

平成29(2017)年度の各委員会担当責任者一覧(案)に基づいて説明がなされ、併せて、来年度については上記2つの特別部門を設置することが提案され、異議なく承認された。
4. 「公務員試験対策総合講座」と「TOEIC試験対策講座」の来年度継続開講について
 

両講座共に来年度も継続開講としたいとの提案がなされ、異議なく承認された。
5. 「松本大学教育総合研究(仮称)」の刊行について
 

標記研究誌の刊行について川島教職センター長(教育学部長予定者)より要請があったこと及び、教育学部教員が増えることなどから、教育に関する研究を掲載する研究誌を新たに刊行したいとの提案がなされ、異議なく承認された。

## 第11回 平成29年3月22日(水)

1. 今年度入試の最終状況と来年度入試について
 

現時点の手続き状況について報告された上で、今年度入試状況を踏まえ、来年度入試について、



各学部学科で入試区分ごとに募集人員の割振り及び獲得目標数値をゴールデンウィーク前にそれぞれ決定していただきたいとの依頼がなされ、了承された。

## 2. 来年度の年間行事予定について

来年度は短大フォーラムの開催を予定していることを踏まえ、研究発表会を例年より1週間ずらして3月5日(月)・6日(火)としたいとの提案がなされ、異議なく承認された。また、5月と1月の会議日程について、連休等により第1週に会議を行えないことから、それぞれ1週間繰り下げることが提案され、異議なく承認された。

## 3. 松本大学研究誌規程等の改正について

### i) 松本大学研究誌規程(改正案)

### ii) 松本大学研究誌執筆要項(修正案)

来年度より刊行する「教育総合研究」誌に関わる事項を中心とする規程改正並びに執筆要項の改正が提案され、異議なく承認された。

## 4. 外部研究員並びに学生・院生対応の研究倫理規程について

学生・院生に対する研究倫理教育の実施が求められるようになってきていることから、来年度からはゼミ等のシラバスに倫理教育を行う旨を表記する等対応の依頼がなされ、了承された。

## 5. 強化部を含む課外活動に関する諸規程の改正について

### i) 松本大学強化部内規(案)

### ii) 松本大学強化部及び重点部の遠征に係る旅費内規(改正案)

### iii) 松本大学強化選手支援内規(改正案)

### iv) 松本大学クラブ・サークルの活動における学外指導者内規(改正案)

### v) 松本大学クラブ・サークル等の活動に係る大学所有バス等の使用内規(改正案)

上記5つの内規の制定及び改正について、関係者への確認とともに、3月1日(水)開催の全学学生委員会において承認済みであることなど縷々説明がなされ、異議なく承認された。

## 6. 麻績村との連携協定締結について

協定締結について提案がなされ、異議なく承認された。

## 7. 危機管理マニュアルについて

学生の海外留学などにおいて不測の事態が起こった場合の対応を定める必要があることから作成された標記マニュアルの説明の後、全学運営会議等で国内版の必要性について指摘があり、現在、学生課で整備するよう依頼しているものの、4月から学生が動き始めるため海外版は先行して運用したいとの追加説明がなされ、審議の結果、一部文言を修正のうえ承認された。

## 8. 来年度の「公務員試験対策総合講座」の運営について

講座の財政的安定を目指して、①来年度より1コマ当たり現行1,000円の受講料を1,100円に一律10%値上げすること、②専門分野についても学内教員に担当をお願いするよう調整することの2点が提案され、異議なく承認された。

## 9. 義守大学(台湾)との連携協定について

資料を基に義守大学について説明がなされ、同大学は連携協定の締結について承諾しており、本学としても具体的に手続きを進めたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

## (2) 衛生委員会

教職員の健康維持増進、安全な就業環境の整備を目的とし、今年度から衛生委員会を発足させた。

### ①委員会の開催

7月21日、8月24日、9月28日、10月26日、11月30日、12月21日

### ②ストレスチェックの実施

教職員のメンタルヘルス向上を目的として、労働安全衛生法の規定に則りストレスチェックを実施した。



実施者：松本大学 産業医、保健師

実施期間：平成28年10月3日～17日

対象者：160名

受検者：154名（受検率96.2%）

実施の結果、高ストレスと判定された教職員について、保健師面談・産業医面談勧奨等のフォローを実施した。

### ③教職員の労働環境の改善

衛生委員会において、主に長時間勤務の改善について検討を重ねた。

### ④教職員の健康管理

#### a) 健康診断

H28.6.1教職員 定期健康診断(松本大学) 55名

個別受診対応 2名

H28. 6.8 教職員 胃検診(松本大学) 16名

H28.4月～教職員 人間ドック 67名

H28.6月～H28.7月 教職員定期健康診断・胃検診 保健指導 55名

#### b) 学校感染症抗体検査

H28.4. 6～8 : 2名

#### c) 保健師対応

H28. 4. 1～H28. 3.31 実人数 29名／延べ人数 53名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など

#### d) カウンセラー対応

H28. 4. 1～H29. 3.31 実人数2名／延べ人数4名

(内容：学生対応相談 その他)

## (3) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、全学運営会議メンバーを主力部隊としている。年間35回開催された全学運営会議の中では、①事業計画に基づいて全学的課題の進捗状況を、②また日々生起する新たな課題に対応して取り組んだ内容を、絶えず点検・評価してきている。

特に今年度は、県内の高等教育をめぐる状況の変化が激しく、それへの機敏な対応が求められる中で、本委員会は各学部・学科毎の対応方針について、全学的にチェックする機能を果たすことができた。

昨年度は第三者評価を受審する年度であったため、特別な体制を敷いて対応していた。今年度は新学部の開設準備もあったが、点検・評価という視点では、少し落ち着いて規程の見直しなど整備に努めることができた。この間の組織改革に伴って、規程を改編しないと新たに進んでいる実態と齟齬を来す可能性があったが、首尾一貫した体系を維持するにはある程度の余裕を持った時間が必要であった。

## 1) IR推進部会

今年度も新しい視点からのリサーチ活動が展開できなかった。教員同士では全学運営会議などで意見交換は行われるが、職員を交えた部会が開催されなかったことで教職協働が進まなかった点に弱点がある。また、新学部設置準備関係で多くの教職員の勢力が割かれてしまったことも一因ではあるが、その結果として新しいアイデアに基づいた研究活動へ取り組もうとする意識が醸成できなかった点大きい。

こうした点を踏まえて、次年度からは教員と職員のマッチングを含め、アイデアを募りながら新たなリサーチ・プロジェクトを立ち上げたい。幸いなことに教育学部の設置で、専任教員の数は増えており、可能性は広がってくると思われる。

## 2) コンプライアンス推進部会

4月1日 合同教授会での取組

議題として「コンプライアンスについて」を挙げ、全員に「学校法人コンプライアンス推進規程」「学校法人松商学園コンプライアンス行動規範」を再配付し、学長から説明を加え、コンプライアンスに対する意識を啓発した。

また、「研究活動における不正行為への対応に関する規程」、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」も配付し、全教員から各自が署名した誓約書を管理課に提出してもらった。

8月2日 研究倫理講習会の開催（研究倫理委員会が主管）

講師に東京大学大学院医学系研究科保健管理学教室助教の中澤栄輔氏を招き、本学教員と大学院生を対象に研究倫理講習会を開催し、33名の参加があった。

テーマは「研究に『倫理』が必要なのはなぜか—哲学研究から医学研究まで—」で、具体的な事例に基づいた有意義なものであった

## 3) 認証評価準備部会

各学部各学科選出委員及び事務局長と総務課長を構成員とする認証評価準備部会は、自己点検・評価委員会の下におかれ、本学における認証評価受審に関する準備並びに評価員による他大学の認証評価の実施が主要な任務である。今年度は、当面する審議・報告事項がなかったため部会は開催されていないが、以下のような形で関連する任務が滞りなく遂行された。

### 1. 本学の認証評価受審に関する準備

- i) 次回の認証評価に向けて、本学の「自己点検・評価報告書」の作成のための諸エビデンスの整備に関する助言を、必要に応じて各担当者に行った。
- ii) 全学教務委員会と協力・共同して、前回（平成27年度）の受審で指摘された、シラバスの記載方法など教務関連事項について対応策を検討、決定し、全学的周知に努めた。
- iii) 各種講習会や下記2のような形で認証評価に関する情報を捉え、上記ii)同様、全学教務委員会と協力・共同して、教務関連事項について次回受審に向けて諸々の準備、整備に積極的に取り組んだ。

### 2. 当部会委員による評価員としての他大学の認証評価の実施

今年度も、当部会委員が日本高等教育評価機構の評価員として、他大学の認証評価を担当した。また、それを通じて最新の評価基準などについて理解する機会に恵まれ、結果として、上記1の本学の受審に関しても重要かつ有益な情報が得られることとなった。

## (4) 人権委員会

人権委員会は、ハラスメント防止部会と個人情報保護部会の2部会で運営されている。委員会のメンバーは、教員が各学部学科から8人、職員は学生課・教務課・管理課・情報センター・キャリアセンターなどの各部署から10人の合計18人で構成されている。教員は、ハラスメント防止部会と個人情報保護部会の2部会を共に担当しているが、職員の方は両部会に分かれて担当することとなっている。

### 1) ハラスメント防止部会

ハラスメント防止部会は、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメントなどのさまざまなハラスメントの防止と排除を目的に研修活動並びに相談業務などを行っている。平成28年度の相談業務は3件である。その内1件は申立人不明により事実確認ができないため却下となったものの、残り2件は速やかに相談に応じ適切な対応をとることによって解決することができた。

### 2) 個人情報保護部会

本部会は、近時の高度情報通信社会の進展に伴い、個人情報の利用が著しく拡大していることに鑑み、

教育機関としてこれらの情報を適正に取り扱うことを目的としている。そのため個人情報保護に関する関係法令および学内規程に基づき活動している。部会は必要に応じて不定期に開催することとしている。なお平成28年度は、個人情報に関する相談はなかった。

## (5) 健康安全センター運営部会

健康安全センターの稼働8年目を迎え、学生の健康の維持増進、安全な学習環境の充実を図ってきた。

### ①学生の健康管理

#### a) 学生健康診断

- H28. 4. 6～8: 学生定期健康診断 1,892名
- H28. 4.18～20: 学生定期健康診断 尿再検査 93名
- H28. 4.11～: 胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導 (1名)  
医師診察・尿検査 要精密検査該当学生保健指導 (14名)

#### b) 学校感染症抗体検査

H28.4.6～8: 629名 結果返却・事後指導

#### c) 保健師対応

- H28. 4. 1～H29. 3.31 学生利用 実人数305名／延べ人数678名  
急病・外傷などの応急手当、感染症発生対応、心身の健康相談など  
医療機関移送 7件 (健康安全センター・学生課)  
※保護者相談対応 実人数7名／延べ人数9名  
※来学者 (入試・キャンパス見学会など) 対応 実人数1名／延べ人数1名

#### d) カウンセラー対応

H28. 4. 1～H29. 3.31 学生利用 実人数19名／延べ人数27名

### ②学生への健康教育

- H28.5.16 人間健康学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ～それでも吸いますか」  
「外傷の応急手当」
- H28.5.19 総合経営学部 1年生 地域社会と大学教育「タバコ～それでも吸いますか」
- H28.6.17 健康栄養学科1年生 「大学生のメンタルヘルス」
- H28.6.27, 30 地域づくり考房ゆめ 「熱中症と外傷の応急手当」
- H28.10.28 健康栄養学科1年生「管理栄養士・栄養士になる皆さんへ (他職種連携)」
- H28.11.15 総合経営学部1年生「知っておきたい外傷の応急手当」「感染症について」
- H28.11.28 女子ソフトボール部「外傷の応急手当」「スポーツ選手の食事」
- H28.12.8 健康栄養学科3年生「アナフィラキシーショックへの緊急対応」  
※心肺蘇生講習については別記。

### ③救護対応

- オープンキャンパス (4/24、5/22、6/26、7/31、8/20、9/25、3/20)
- H28.7.3 短期大学部 体育大会
- H28.10.14～10.16 梓乃森祭
- H28.11.19、20 推薦前期入試
- H28.12.10、11 総合経営学部・短期大学部 推薦・編入入試
- H29. 1.14、15 大学入試センター試験
- H29.2.4、5 一般A入試

### ④安全な学習・就業環境の整備

- a) AED (自動体外式徐細動器) の整備

- ・ 日常点検の徹底
- ・ 消耗品等適宜整備
- b) 救急箱の整備・貸し出し  
H28. 4. 1～H29. 3.31 貸し出し実績 11件

#### ⑤感染症対応

- a) インフルエンザ
  - ・ 松本大学インフルエンザ危機対策本部の設置
  - ・ 学内感染者の把握・情報収集  
H28.4.1～H29.3.31 インフルエンザ感染  
学生154件、教職員 3件
  - ・ 感染拡大防止対策
    - i) 発症者からの連絡に基づき、濃厚接触者への注意喚起。
    - ii) インフルエンザ予防接種の実施  
H28.11.26～ 教職員41名  
学 生76名(強化部・重点部)
  - ・ 広報活動  
感染拡大時に教職員一斉メールにて状況を周知、注意喚起。
- b) 水痘 学生感染者1名  
発見前に行動をともにした教員および学生に対し、注意喚起。

#### ⑥学生寮の衛生管理

- a) 松球寮(硬式野球部)、あずさ寮(女子ソフトボール部)の厨房における食中毒原因菌のテスト結果管理。
- b) あずさ寮調理員の検便管理
- c) 松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェックおよびアドバイス

#### ⑦心肺蘇生法啓蒙活動

- 学生対象 心肺蘇生法講習会
  - H28. 7.11、14 地域づくり考房ゆめ
  - H28.12.1 健康栄養学科 3年生
  - H28.12.13 総合経営学科 1年生
  - H28.12.20 観光ホスピタリティ学科 1年生

#### ⑧学会・研修

- H28.7.7～8 第54回全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会研究集会  
(松本市・キッセイ文化ホール)
- H28.11.15 丸の内病院 健康推進学習会(松本東急REIホテル)

#### ⑨全国大学保健管理協会

- H25.4.1～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 保健看護分科会 運営委員に保健師が就任。
- H28.7.7 運営委員会(キッセイ文化ホール)
- H28.9.1 運営委員会(東京学芸大学)
- H29.1.26 運営委員会(東京女子大学)



## ⑩会議

健康安全センター運営委員会 (7/21、12/21)

## (6) 施設管理センター運営委員会

平成28年度において、新たな施設として教育学部専用棟（8号館）が誕生した。8号館鉄筋コンクリート4階建てで概要は次の通りである。また、旧第2体育館は8号館と一体化することで新築した。8号館建設工事に併せて旧部室棟も解体し、新たに建築した。

建築面積 8号館 964.00㎡

第2体育館 874.00㎡ 渡り廊下 19.00㎡

第2部室糖 291.65㎡ (14室)

延床面積 8号館 3611.11㎡

文部科学省の私立大学等教育研究活性化設備整備事業、私立学校施設整備費補助金を活用して、松商短期大学部の教育環境の整備を進めた。具体的な内容は次の通りである。

## ①アクティブラーニング推進のために什器・情報機器の整備

(文科省補助金「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に採択)

事業経費 14,691,000円 補助額 10,503,000円 (補助率71.5%)

## ②1・2号館のICT教育環境整備のための音響映像機器の入れ替え

(文科省補助金「私立大学等改革総合支援事業 ICT活用推進事業」に採択)

事業経費 19,980,000円 補助額 9,990,000円 (補助率50%固定)

改修工事では、1号館の消火配管更新工事を行った。老朽化のため圧力漏れが生じており、消防法に定める圧力がかからない状況であった。また、在籍管理システムのモニターがアナログ対応のため、新システム（8号館導入）と連動するデジタル方式に変更した。

1・2・3号館の電灯のLED化と太陽光発電設備の効果のため、年間の電力使用料金44,40千円（月額370千円）が39,60千円（月額330千円）まで削減できた。

## (7) 危機管理委員会

現在、大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は広範囲にわたる。全体を俯瞰すると、

①大規模災害時への対処、②インターネット社会における情報セキュリティの確保、③研究倫理の定着とコンプライアンス、④キャンパスの安全確保とハラスメント対策に大別できる。これらの課題に対する具体的な取組みは、各分野を管轄する各部会で進められている。ここでは、各分野に対する本学としての全体方針を示す。

## ①大規模災害への対処

大学COC事業において、松本広域消防局、新村地区消防団と連携し、防災対策を推進していく。定期的に防災訓練を実施し、有事に備える。また、防災士養成講座の開講と正課授業をリンクさせ、防災・減災教育に取り組む。さらに、災害時に対応できる機器備品の整備も継続的に進める。

## ②インターネット社会における情報セキュリティの確保

情報センター運営委員会と情報センターの職員による専門性の高い取組みにより、サーバーの学外移転、キャンパス・セキュリティ対策を計画的かつ迅速に進めていく。また、全教職員が学校法人松商学園情報セキュリティ・ポリシーに基づき、本学の情報資産を保護し、情報セキュリティの適正な管理を遂行していく。

## ③研究倫理の定着とコンプライアンス意識の啓発

研究倫理に関する諸規定の見直しを進め、我が国の研究倫理のガイドラインに沿うものとして整備した。また、全教職員に対して、研究倫理に関する研修の機会を提供し、高次の研究倫理観の醸成とその啓発を継続的に取り組んでいく。また、学校法人松商学園コンプライアンス推進規程及び学校法人松商学園コンプライアンス行動規範の遵守を推進する。

## ④キャンパスの安全確保とハラスメント対策

既に整備している学内管理下の事故防止策や損害賠償責任に対する保険、実験・実習の安全管理と傷害保険等の点検をする。また、校舎、校地内の危険箇所の点検を進める。学生の通学時の車輛（バイクを含む）事故の防止に向けた安全教育に取り組む。現在、運用しているキャンパスハラスメント防止体制を再点検するとともに、全教職員に対して、キャンパスハラスメントを防止する意識を啓発するための研修の機会を定期的に設定していく。

## 1) 環境保全部会

### 活動実績

- ①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせて回収している。また、エコ・キャップは常時学内で回収する専用の箱を設置している。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保護の観点に留意するように働きかけている。
- ③太陽光発電を導入して2年が経過し、契約電力量を上回る状態は回避できた。併せて大学全体の1年間の電気使用量は概ね現状維持であり経費削減までには至らなかった。

## 2) 防災防犯対策部会

### 活動実績

- ①防災訓練の実施（6月と11月） 6月においては新村地区との合同訓練  
：実際発生に近い設定による防災訓練を試みる観点から、新村地区における第一次避難場所（町会公民館）と指定避難場所（松本大学グラウンド）との避難経路の確認と本学学生の役割の検証を行った。
- ②防災士養成講座（日本防災士機構）開講  
：10月8日（土）・9日（日） 受講者55名（一般33名・学生22名）
- ③防災対策先進地視察 広島市安佐南区土石流発生地域  
：11月10日（木）～12日（土） 広島市危機管理室危機管理課訪問  
主に土砂災害防災についての学びと被災後のケアボランティアの受け入れ
- ④「防犯カメラ運用に関するガイドライン」運用状況精査